

2021年度

事業報告書

社会福祉法人
札幌報恩会

— 目次 —

I	2021 年度 施策の成果	1
	1. 事業の期間	1
	2. 施策の成果	1
II	2021 年度 事業実績	2
	1. 法人本部 実績	2
	(1)財務の視点～経営管理、財務管理	2
	(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング	2
	(3)業務改善の視点～リスクマネジメント	2
	(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理	2
	(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施	3
	1.理事会の開催	3
	2.評議員会の開催	4
	3.監事監査の実施	5
	(6)会計監査人監査状況(養和監査法人)	5
	(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)	6
	(8)避難訓練	7
	(9)法人研修	7
	(10)法人行事関連	8
	(11)職員厚生会	8
	(12)経営コンサルタント(吉岡経営センター)実績	9
	1. 会計監査	8
	2. 人事考課表関連	9
	3. 職員研修	9
	4. 預り金監査	10
	(13)地域貢献事業(取り組み状況)	11
	(14)設備の改善状況	11
	2. 各事業所実績	12

【札幌報恩学園 概要】	12
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【グリーンホーム厚別 概要】	22
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【そよ風 概要】	30
生活介護	
【ワークショップ上野幌 概要】	34
生活介護・就労継続支援A・就労継続支援(B型)～ 多機能型	
【のぞみ寮 概要】	40
宿泊型自立訓練	
【くるみ寮 概要】	45
共同生活援助 ～ 介護サービス包括型	
【ホープス 概要】	49
就労継続支援(B型)・就労移行支援 ～ 多機能型	
【サポート91 概要】	53
居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援	
【ステーション 106 概要】	57
相談支援	
【就業・生活相談室しんさつぽろ 概要】	60
就業・生活相談	
【まごころ保育園 概要】	63
保育事業	
【幌西ほうおん 概要】	69
生活介護・就労継続支援(B型)～ 多機能型	

I. 2021年度 施策の成果

1. 事業の期間

2021年4月1日から2022年3月31日

2. 施策の成果

(1)法人経営統括

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で日常の事業実施について、入所系では面会や帰省の中止、後半タブレットを使つての面談と保護者関係者の皆様には大きな協力をいただいた。入所やグループホーム・通所系では一部閉鎖や縮小をせざるを得ない状況が続いた。情報や経験が乏しい中、札幌市や保健所等の指示応援等を受け、法人内での情報共有を行い、対応策を日々検討して事業を進めていった。またサービス管理部門においても、外部研修、行事、地域貢献事業は不参加、自粛が続いた一年であった。

社会福祉法人には、より透明で公正な運営のほか、サービス及び職員の質の向上が求められている。計画的で適正かつ堅実な事業運営により健全な財政運営を展開してきたが、今年度も手当の増額、新型コロナ感染症対策の影響があり、さらに財政運営が厳しいところがあり、今後の継続的な負担が見込まれることから更なるコスト削減も意識しつつ堅実な財政運営を進める必要がある。

(2)新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策に利用者、職員の健康を考え法人一丸となり取り組みを行い、定期的なPCR等の検査や法人内での3回目のワクチン接種も実施した。都度、対策委員会やコロナ状況の確認等も行い、各種会議や研修は引き続きオンラインシステム中心で行った。

(3)第4次中期経営計画3年目

中期経営計画の機能別4分野について、2021年度についての施策成果(達成状況)を報告する。

別紙 中期経営計画 2021年事業報告 参照

Ⅱ. 2021年度 事業実績

1. 法人本部 実績

(1)財務の視点～経営管理、財務管理

- ・理事会、定時評議員会は予定通り開催、理事長、業務執行理事の業務執行状況報告を理事会ごとに行った。
- ・年2回の環境整備委員会も行った。
- ・会計監査人による監査を実施。実務的な指摘事項が減ってきている。財務分析は月次会議を中心に報告しているが、収支構造に低迷している事業があり事業継続における見直しなど検討の必要に迫られている。
- ・設備計画(購入、工事、改修等)は緊急性のあるもの、特に敷地内の井戸ポンプ更新工事と札幌報恩学園・グリーンホーム厚別・地域支援センターくるみ寮の冷房設備工事の入札を実施した。購入では新型コロナウイルス感染症対策備品が中心であった。
- ・預り金監査は外部に委託。年々指摘事項が減少している。

(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング

- ・新型コロナウイルス感染症対策により後援会活動、町内会活動等は自粛、不参加がほとんどであった。café スミレは、まん延防止解除期間のみ、café ラベンダーは年間を通して利用者様を中心に営業を行った。

(3)業務改善の視点～リスクマネジメント

- ・法人合同の災害訓練を継続実施。毎年想定災害を変えて行っている。
- ・大型倉庫内に、外部受入用の非常食や防災毛布を収納。
- ・ホームページの見直しで委員会を設置し内容変更を随時行い、タイムリーな情報を提供できた。
- ・オンラインシステムを構築し web 会議「zoom」をフルに活用した。

(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理

- ・学校関連に毎月採用試験の案内を出し、業者を使い広範囲に募集案内を出して少しずつ内定者が決まり、十分とはいえませんが定員数に対する職員の数確保することができた。
- ・資格取得制度を利用した職員は10名、かなり浸透してきた。
- ・評価基準見直し後の人事考課を実施した。

(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

1. 理事会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	2021年 1月20日(水)	議案第1号 グリーンホーム厚別ボイラー更新工事について、予算の変更と入札承認の件	承認
第2回	2021年 2月27日(土)	報告第1号 第3四半期監事監査結果報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 2020年度 建設事業等実行委員会からの報告について 議案第1号 各事業所運営規程一部改正について 議案第2号 2020年度 第一次補正予算(案)及び固定資産除却について 議案第3号 処遇改善加算手当及び期末賞与の支給について 議案第4号 法人規定の一部改正について 議案第5号 2021年度 法人管理者の人事異動及び任命について	承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決
第3回	2021年 3月27日(土)	議案第1号 事業所運営規程について 議案第2号 エアコン設置工事の年度変更と入札の承認について 議案第3号 2021年度 事業計画(案)について 議案第4号 2021年度各拠点区分当初予算(案)について 議案第5号 積立資金取崩しについて 議案第6号 2021年度建設事業等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第7号 コンサル業者の2022年度業務報告と2021年度契約更新について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第4回	2021年 6月11日(金)	報告第1号 第4四半期決算の監事監査結果及び会計監査の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 札幌市指導監査の結果について 報告第4号 2021年度 第1回環境整備委員会からの報告について 報告第5号 2021年度 建設事業等実行委員会からの報告について 報告第6号 2020年度 苦情・要望等の結果報告について 議案第1号 2020年度 事業報告の承認について 議案第2号 2020年度 第二次補正予算について 議案第3号 2020年度 決算に係る計算書類及び財産目録の承認について 議案第4号 2020年度 社会福祉充実残額の算定結果について 議案第5号 法人規程の一部改正について 議案第6号 定款一部改正について 議案第7号 登録免許税施行規則第3条の規定による不動産使用証明申請について 議案第8号 評議員候補者の推薦について 議案第9号 理事候補者の推薦について 議案第10号 監事候補者の推薦について 議案第11号 評議員選任、解任委員会の選任について 議案第12号 定時評議員会の招集事項決定について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

第5回	2021年 6月26日(土)	議案第1号 理事長互選について 議案第2号 業務執行理事の選任について 議案第3号 法人管理職の人事異動及び任命について	可決 可決 可決
第6回	2021年 9月3日(水)	報告第1号 第1四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 議案第1号 建設等実行委員会への追加の委嘱事項について 議案第2号 第三者委員の退任及び選任について 議案第3号 法人規程の一部改正について 議案第4号 固定資産の除却について	承認 承認 可決 可決 可決 可決
第7回	2021年 12月3日(金)	報告第1号 第2四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 建設等実行委員会からの報告について 報告第4号 理事長専決事項について 報告第5号 介護事故等の報告について	承認 承認 承認 承認 承認
第1回	2022年 2月25日(金)	報告第1号 第3四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 議案第1号 各事業所運営規程の一部改正について 議案第2号 法人規程の一部改正について 議案第3号 2022年度 法人管理職の人事異動及び任命について	承認 承認 可決 可決 可決
第2回	2022年 3月25日(金)	議案第1号 2022年度予定の札幌報恩学園ボイラー更新工事の入札の承認について 議案第2号 2021年度 第一次補正予算(案)について 議案第3号 処遇改善臨時特例交付金手当及び期末賞与の支給について 議案第4号 2022年度 事業計画(案)ならびに第5期中期経営計画について 議案第5号 2022年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第6号 法人規程の一部改正について 議案第7号 2022年度 建設等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第8号 給食調理業務委託事業者の選定について 議案第9号 コンサル業者の2021年度業務報告と2022年度契約更新について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

2. 評議員会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	2021年 6月26日(土)	報告第1号 2020年度決算に係る監事監査結果及び会計監査報告について 議案第1号 2020年度事業報告の承認について 議案第2号 2020年度決算に係る計算書類及び財産目録の承認について 議案第3号 2020年度社会福祉充実残額の算定結果について 議案第4号 定款一部改正について 議案第5号 登録免許税施行規則第3条の規定による不動産使用	承認 可決 可決 可決 可決 可決

	証明申請について 議案第 6 号 理事の選任について 議案第 7 号 監事の選任について 報告第 2 号 評議員選任・解任委員会からの報告 その他 2021 年度 事業計画及び各拠点区分当初予算について	可決 可決 承認
--	---	----------------

3. 監事監査の実施

第 1 回	2021 年 8 月 18 日(水) (4 月から 6 月分)	1 小口現金の実査 2 預金残高の確認 3 会計処理(第1から4四半期) 4 予算執行状況確認 5 法人運営関係確認 6 決算作業(第 4 回)
第 2 回	2020 年 11 月 25 日(木) (4 月から 9 月分)	
第 3 回	2021 年 2 月 16 日(水) (4 月～12 月分)	
第 4 回	2021 年 6 月 1 日(水) (決算)	

(6)会計監査人監査状況(養和監査法人)

訪問日	実査内容	備考
・2021.4月7日～ 8月21日	*実査・確認手続き ・小口現金等実査	
・2021.5月19日～ 5月21日	*期末監査	
・2021.9月13日～ 9月15日	*内部統制の整備状況の確認 *期中取引の検証	
・2022.3月22日～ 3月24日	*内部統制の運用状況の評価 *期中取引の検証	

(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移

＜令和 3 年度新人採用の件＞

- ・5/22 採用試験実施 1 名受験 1 名合格(支援:男性 0 名、女性 1 名)
- ・6/19 採用試験実施 2 名受験 2 名合格(支援:男性 0 名、女性 2 名)
- ・7/31 採用試験実施 0 名
- ・8/21 採用試験実施 0 名
- ・9/25 採用試験実施 2 名受験 2 名合格(支援:男性 0 名、女性 2 名)
- ・10/23 採用試験実施 2 名受験 2 名合格(支援:男性 1 名、栄養士:女性 1 名)
- ・11/27 採用試験実施 3 名受験 3 名合格(支援:男性 0 名、女性 3 名)
- ・11 月 採用辞退 3 名(支援:女性 3 名)

- ・2月 採用辞退 1名(栄養士:女性1名)
- ・3月 採用試験実施1名受験 1名合格(栄養士:女性1名)

合計7名(生活支援員:男性1名、女性5名)
(管理栄養士:女性1名)

<入職>

(新任)

- ・4月:正職員:13名(報恩8名、グリーン3名、ワーク1名、そよ風1名)

(中途)

- ・4月:正職員 3名(報恩3名、うち1名は臨職から正職へ)、
パート5名(報恩1名、のぞみ1名、くるみ2名、幌西1名)
- ・5月:パート1名(くるみ1名)
- ・6月:パート 2名(ワーク1名、くるみ1名)
- ・7月:臨職 1名(報恩1名)
- ・8月:正職 2名(幌西1名、報恩1名→臨職から正職へ)、
パート1名(くるみ1名)
- ・10月:パート2名(くるみ1名、まごころ1名)
- ・11月:パート1名(まごころ1名)
- ・2月:臨職1名(報恩1名)

(正職員 18名、臨職 2名、パート12名)

(退職)

- ・4月:正職員 1名(しんさつぼろ1名)、
臨職 1名(報恩1名、正職へ登用)
- ・6月:正職員 3名(報恩3名)
- ・8月:臨職 1名(報恩1名、正職へ登用)
- ・9月:パート1名(報恩1名)
- ・10月:パート1名(まごころ1名)
- ・12月:正職員 1名(報恩1名)
臨職 1名(報恩1名)
パート 2名(くるみ1名、ホープス1名)
- ・1月:正職員1名(グリーン1名)
- ・2月:正職員 1名(報恩1名)
パート 1名(ワーク1名)
- ・3月:正職員 18名
臨職 1名(ホープス1名)
パート 4名(ワーク1名、くるみ寮3名)

(正職員 25名、臨職 3名、パート5名)

(8)避難訓練

- ①札幌報恩学園
 - ・7/20 夜間想定訓練、9/1(法人防災訓練)、3/14(火災避難訓練)
- ②グリーンホーム厚別・そよ風
 - ・8/4、9/1(法人防災訓練)、10/14、11/4 夜間検証、3/11
- ③ワークショップ上野幌
 - ・5/25、9/1(法人防災訓練)、11/12、3/24
- ④のぞみ寮
 - ・6/17、8/14、9/1(法人防災訓練)、10/26(帰宅困難想定訓練)
- ⑤くるみ寮
 - ・5/9、5/11、5/12、5/19、5/23、6/29、8/7、8/11、8/12、8/21、8/25、8/29、8/30、8/31、9/1(法人防災訓練)、9/6、10/6、10/7、10/8、10/9、10/16、10/20、10/21、10/24、11/10、2/2、2/5、2/11、2/16、2/19、2/24
 - 各ホーム、サテライトにて
- ⑥ホープス
 - ・5/24、7/16、9/1(法人防災訓練)
- ⑦幌西ほうおん
 - ・5/14、7/8、9/1(法人防災訓練)、1/14
- ⑧まごころ保育園
 - ・4/14(地震)・5/12(不審者)・6/9(火災)・7/7(地震)・8/6(不審者)・9/1(法人防災訓練)・10/13(火災)・11/11(不審者)・12/8(火災)・1/14(地震)・2/9(不審者)・3/2(火災) 毎月1回 火災・地震・不審者対応 順次

(9)法人研修

- ・7/8 アンガーマネジメント研修1(参加者 23 名)
- ・8/12 メンタルヘルス研修1(参加者 23 名)
- ・9/30 クレーマー対応術基礎講座 BB(参加者 83 名)
- ・10/14 障害福祉サービス利用者等の権利擁護と人権(参加者 92 名)
- ・10/20 知的障がい施設で働くということ(参加者 83 名)
- ・11/15 メンタルヘルス研修2(参加者 53 名)
- ・11/25 アンガーマネジメント研修21(参加者 23 名)
- ・12/9 生活習慣病研修(参加者 62 名)
- ・1/20 精神障がい当事者講話:合理的配慮について(参加者 73 名)
- ・2/24 虐待防止研修(参加者 56 名)
- ・3/28~3/31 新任職員研修(参加 7 名)

(10)法人行事 関連

① 運動会

・実施日:2021年6月20日 新型コロナウイルス感染症予防の為、中止

② 報恩まつり

・実施日:2021年9月23日

会 場:交流ホームひまわり周辺等

内 容:法人内部の利用者のみの小規模開催

③ 創立記念日

・実施日:2021年11月30日

会 場:各事業所にて

内 容:利用者少人数による開催

④ 成人のお祝い会

・実施日:2022年1月10日(ホープス)

会 場:地域交流ホームひまわり

対象者:ホープス;1名

内 容:写真撮影、記念品贈呈等

⑤ 参観日

・実施日:2021年5月9日・2022年2月27日 新型コロナウイルス感染症予防の為、中止

(11)職員厚生会 関連(2022.3.31 現在、会員数;255名)

①厚生会係りによる行事は、新型コロナ感染症の為、全て中止

②慶弔金搬出事業

餞別 17件、香典等 19件、見舞金 5件、お祝い金 16件

③会議(第1回;2021、5月、第2回:2022、2月第3回:2022.3月)

2021度の職員厚生会行事は職員永年勤続表彰のみ実施した。

1回目 2021年12月15日 2回目 2021年12月23日

(12)経営コンサルタント実績

*2021年度 契約業者:株式会社吉岡経営センター

1. 会計監査(計12回)実施

(1)決算業務指導

①固定資産管理に関するアドバイス

②積立金適正額に関するアドバイス

(2)会計指導

- ①減価償却、固定資産処分に関する仕訳処理の確認
- ②固定資産の耐用年数に関するアドバイス
- ③消費税申告業務支援
- ④拠点区分間固定資産移管仕訳に関するアドバイス
- ⑤退職者に伴う仕訳処理の確認
- ⑥内部取引消去に関する処理の確認

2. まごころ保育園 人事考課表の作成・運用支援

現行の支援員向け人事考課表をベースに文言をアレンジして、保育園用人事考課表を作成、2022年度から運用開始

- (1)現行・障害部門の人事考課表を保育園用に変更
- (2)評価ウエイト点検
- (3)動画による職員説明会実施
- (4)2022年4月からトライアル評価を実施予定

3. 職員研修

(1)課長職研修

- ①決算書の見方 2021年8月5日実施
- ②財務分析の手法 2021年9月2日実施
- ③業務管理体制の構築 2021年11月4日実施

(2)係長・主任研修

- ①リスクマネジメント体制の構築 2021年7月1日
- ②人材育成能力の向上 2021年10月7日実施
- ③労働基準法の理解 2021年11月4日実施

(3)被考課者向け人事考課制度研修

- ①被考課者向け人事考課制度研修 2021年9月2日実施
- ②被考課者向け人事考課制度研修 2021年12月2日実施

(4)人事考課者向け人事考課制度研修

- ①人事考課者向け人事考課制度研修 2021年4月6日実施
- ②人事考課者向け人事考課制度研修 2022年1月6日実施

(5)中期経営計画策定 研修

- ①中期経営計画策定 研修 2021年10月7日実施

(6)新人研修

- ①ビジネスマナー、待遇、就業規則 2022年3月30日実施

4. 預り金監査

2021年11月19日実施

預り金監査の結果は、別途報告書のとおりです。

(13) 地域貢献事業(取り組み状況)

1. 地域における公益的な取り組み事業

※新型コロナウイルス感染症予防の為、開催自粛中

2. 地域との関連

※新型コロナウイルス感染症予防の為、中止及び不参加

3. ボランティアの受け入れ

・補修～コロナの関係で現在町内会のボランティアは中止となっている

・園芸 グリーンホーム厚別 各2名(11/2、11/5、11/9、11/17、11/30、12/7、
3/8、3/15、3/23、3/29)

※コロナ感染予防対策実施)

・園庭草取り まごころ保育園 1名

4. 実習生の受け入れ(大学、専門学校生)

・札幌報恩学園 18名

・グリーンホーム厚別 5名

・まごころ保育園 8名

・ワークショップ上野幌 1名

・ホープス 0名

5. カフェの来店者数

・カフェ すみれ (幌西ほうおん)

来客数：4月～10月 0名(休業)

11月 104名、12月 115名、1月 54名、2月～3月 0名(休業)

合計 273名

・カフェ ラベンダー

来客数：4月 226名、5月 231名、6月 123名、7月 223名

8月 163名、9月 232名、10月 242名、11月 206名

12月 170名、1月 158名 2月 78名、3月 113名

合計 1974名

(14)設備の改善(設備投資計画より)

(単位;千円)

事業所名	事業名	金額
本部	パソコン関連 倉庫 除雪業務 ストレスチェック検査料金	
札幌報恩学園	パソコン関連 エアコン 非常灯改修工事 1.2階クロス張替等 浴用車いす	
グリーンホーム厚別	エアコン 非常灯改修工事 ボイラー更新工事 井戸ポンプ更新工事 女子浴室ロスナイ交換 次亜塩素酸生成機	
ワークショップ上野幌	窯業棟石油暖房器	
くるみ寮	エアコン	
のぞみ寮	電話交換	
ホープス	電話交換	
まごころ保育園	パソコン関連 電話交換	
しんさっぽろ	パソコン関連	
幌西ほうおん	パソコン関連	
計		

2. 各事業所 実績

【札幌報恩学園 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活ができるよう、入浴、排泄及び食事の介護、創作的な活動または生産活動、その他の便宜を適切かつ効果的に実施した。
- 入所支援においては、主として夜間において入浴、排泄または食事の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援活動を行った。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、新型コロナウイルス感染対策の観点からやむを得ず受け入れを制限した。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	145名(入所契約者数148名)
受け入れ目標(年間延べ)	51,859名 (148名×365日×0.96)
受け入れ実績	52,179名

②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	145名 (生活介護契約者数148名)
受け入れ目標(年間延べ)	39,015名 (148名×269日×0.98)
受け入れ実績	38,574名

③知的障がい者(児)短期入所事業

受け入れ枠 定員	5名
受け入れ目標(年間延べ)	1,080名
受け入れ実績	44名

④日中一時支援事業の受入れ

受け入れ枠 定員	6名
受け入れ目標(年間延べ)	30名
受け入れ実績	0名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、51,859 名の目標に対して、実数 52,179 名であり達成であった。生活介護においては、目標 39, 015 名に対し、実数 38, 574 名となり未達成だった。短期入所事業においては新型コロナウイルス感染対策の影響で受け入れを制限したため、実数 42 名の利用、日中一時支援においても実数 0 名の利用にとどまり未達成となった。

【施設入所支援】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2020 年度から本年度への繰越人員	97	49	146
本年度中の入所者数	2	1	3
本年度中の利用者総数	99	50	149
本年度中の退所者数	1	1	2
差引本年度から 2022 年度への繰越人員	98	49	147
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	862	428	1,290

②月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	146	146	146	145	147	147	146	146	146	147	147	147	1,756
月平均 施設入所	142.0	143.0	142.6	142.3	143.0	143.5	142.5	143.1	143.3	143.6	144.0	142.6	143.0
入所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
退所	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

③本年度入所利用者数調べ

男	女	計
2 人	1 人	3 人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	1	1
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0
ケアホーム	0	0	0
死 亡	1	0	1
その他(入院退所)	0	0	0
計	1	1	2

⑤在籍者 区分別調べ (月初日現在)

月 程度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	115	115	116	115	115	117	116	116	116	118	118	119	1,396
障害支援区分5	28	28	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26	323
障害支援区分4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
障害支援区分3													
障害支援区分2													
障害支援区分1													
計	146	146	146	145	145	147	146	146	146	147	147	147	1,754

【生活介護】

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2020 年度から本年度への繰越人員	97	49	146
本年度中の入所者数	2	1	3
本年度中の利用者総数	99	50	149
本年度中の退所者数	1	1	2
差引本年度から 2022 年度への繰越人員	98	49	147
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	862	428	1,290

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	146	146	146	145	147	147	146	146	146	147	147	147	1,756
生活介護 月平均	104.5	105.8	104.8	105.0	105.3	104.5	104.2	103.0	108.1	115.8	100.7	104.8	105.5
入所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
退所	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

③本年度入所者調べ

理 由	男	女	計
他施設より	2	1	3
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	2	1	3

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	1	1
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0
ケアホーム	0	0	0
死 亡	1	0	1
その他(入院退所)	0	0	0
計	1	1	2

⑤在籍利用者 区分別調べ (月初日現在)

程度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	115	115	116	115	115	117	116	116	116	118	118	119	1,396
障害支援区分5	28	28	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26	323
障害支援区分4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
障害支援区分3													
障害支援区分2													
障害支援区分1													
計	146	146	146	145	145	147	146	146	146	147	147	147	1,754

(3)利用者の日課

7:30	朝食
8:00	歯磨き
8:30	自由時間
10:00	日中活動
11:45	手洗い
12:00	昼食
12:30	歯磨き
13:00	日中活動 (入浴)
16:30	自由時間 (入浴)
17:30	夕食
18:00	歯磨き 洗面
18:30	自由時間
21:00	就寝

* 基本的に月曜から金曜日は毎日、日中活動、土曜日は月に2日から3日間、日中活動を行った。各ブロックの実態に合わせ、できる限り規則的な生活を心掛けた。

(4)部門目標(反省)

<さくら>

1、意思決定支援を基本とした支援を心掛けます。

おやつやカラオケの曲目選択など個人に合った方法で意思決定をする場面を多く提供することができた。

また、パソコンを活用して衣類や日用品の選択する機会を提供できた。

2、高齢化に向けた取り組みを行います。

『認知症』に関するアンケートの実施、研修や文献などを利用し基礎知識の習得やおむつの当て方を学ぶことができた。年度末のケース発表で認知症の利用者様に焦点を当てて取り組んだことを発表できた。

3、日中活動の充実を図り、稼働率を上げます。

日中活動を毎日提供することを共通認識として取り組み、前年度と比較して稼働率を大きく上げることができた。利用者個々のニーズや季節に合わせた活動内容を提供することができた。

○年間行事報告

コロナ禍の影響で予定していた行事はできなかったが、ブロック内で季節ごとの行事の実施や敷地内のカフェを利用し楽しむことができた。また、夏休みや冬休みにはカラオケ大会やスクリーンを使ったビデオ鑑賞、スノーキャンドル作り、ブロック内での初詣などのイベントを行ない楽しんでいただくことができた。

<ポピー>

1、人権・意思決定支援に配慮した支援を行います。

支援の困りごとや利用者の視点に立った支援等テーマを決めてアンケートを実施し会議などで話し合いを行った。職員が利用者様や他職員に対して感謝の気持ちを伝えるサンキューカードを作成し好評だった。

2、利用者にとって健康で快適な生活の場を提供します。

体重の把握や日々の活動に歩行、体操を取り入れ、健康管理に努めた。高齢化対策として移乗やおむつの当て方の研修を実施したり、浴室の椅子の購入など快適に生活ができるよう取り組んだ。

3、安心、安全な環境作りをします。

ヒヤリハットをケース会議で話し合ったり掲示することで職員間で情報の共有を行った。前年に比べ転倒に関する事故は減ったが、誤薬など課題が残る結果となった。清掃、衛生面に関しては日々行うことができたが、ワックスがけは出来ない箇所があったので、次年度は実施できるようにしたい。

○年間行事報告

コロナ禍のため外出を控えたが、季節の行事では少人数でレクリエーションなどを実施した。敷地内のカフェに出かけたり、交流ホームで選択したお弁当を食べたりし、利用者さんには好評だった。

<ルピナス>

1、自閉症スペクトラム障がい(ASD)について知識を深め、支援に繋がります。

医師や専門機関に相談する機会を定期的に設け、得られた助言や提案を活用して新たな支援のアプローチに繋がった。

2、意思決定支援の拡充を図り、利用者様の意思を汲み取った支援を行います。

感染対策のため利用者の意思を反映した外出は実施できなかったが、毎月「選択おやつの日」を実施し、利用者様が自己選択できる機会を増やした。

3、利用者様の状態や特性に配慮した食事支援を行います。

食事用の椅子や自助食器を導入した。栄養士、看護師からの助言を受け、食事形態や提供方法の見直しを図った。

○行事計画反省

感染対策のため、外出行事はすべて出前での食事に代替えた。出前の注文先が限られ、食事内容にあまり変化を付けられなかった。

<らいらっく>

1、高齢化に向けた取り組みを行います。

食事、入浴、熱中症に焦点を当て取り組みを行った。年度末のケース発表に向けた事例検討を実施した。スケジュール通りに進まないこともあり課題が残った。

2、意思決定に配慮した支援を行います。

ジュース、衣類、余暇時間の選択を中心に利用者様の自己選択に取り組んだ。ご自分で選択できる場面が増え、職員の意識も高まった。今後も継続して取り組んでいきたい。

3、余暇の充実を図ります。

ブロック内のレクリエーション活動を充実して行うことができた。

○年間行事報告

コロナ禍の中においても季節の行事や、敷地内のカフェへ出かけ利用者に楽しんでいただけるものを提供することができた。

<ぼぶら>

1、人権・意思決定支援に配慮した支援に努めます。

自己選択する際に意思を確認するツールをいくつか用意して、各自にあった確認方法を明確に出来た。余暇に関しては個々の現状を調査した結果を参考にして、楽しめるものを提供できて良かった。

2、活動の充実を図ります。

感染症対策の為、活動の再編成を行いエリア毎で活動を分けることができて良かった。次年度は個々に合った活動内容を提供できるよう見直し、更に充実に繋げていきたい。

3、安心して生活できる環境を整えます。

医療情報シートを更新して健康状況の確認に利用した。ヒヤリハット報告をまとめてケース会議で防止策などを話し合い、注意点をファイルにし支援に活かすことができた。

○年間行事報告

コロナ禍で中止になったバス外出の代替えで、普段食べない生ちらし寿司やカツカレーなどを提供し、ひまわりで食事会を行った。季節の行事としてお花見やクリスマス会、節分など実施できた。

<あかしあ>

1、個々の障がい特性に応じた日中活動を提供します。

楯木の運搬活動を再開し活動の選択肢を増やすことができた。また、個々の活動に関して再アセスメントを実施し、新たな自立課題を作成、集中する時間を増やすことができた。

2、健康増進への取り組みを行います。

コロナ禍の為敷地外の歩行に行くことができなかったが、椎茸ハウス周辺や裏山を活用してバリエーションを持たせることができた。新規の運動メニューを取り入れることは難しかった。

○年間行事報告

コロナ禍において今まで保証されていたことができなかったが、代替え行事で対応することができた。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍数

施設長 (管理者)	サービス 管理責任者	生活 支援員	事務 員	栄養 士	看護 師	その他 職員	協力 医	心理・ 音楽療 法士	合計	給食 業務委 託
1	4	(12) 93	4	2	1	(2) 1	(3)	(3)	(23) 110	(10) 5

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 2022年3月31日現在

(2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	氏 名
2021.4.1～	生活支援員等	17名	2022.4.1～	生活支援員等	20名
グリーンホーム厚別からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
2021.4.1	生活支援員	4名	2022.3.31	生活支援員等	6名
くるみ寮からの異動			そよ風へ異動		
2021.4.1	生活支援員	1名	2022.3.31	生活支援員	0名
就業・生活相談室しんさつぼろからの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
2021.4.1	生活支援員	1名	2022.3.31	生活支援員	1名

そよ風からの異動			くるみ寮へ異動		
2021.4.1	生活支援員等	1名	2022.3.31	生活支援員	2名
ワークショップ上野幌からの異動			ホープスへ異動		
2021.4.1	生活支援員	1名	2022.3.31	生活支援員	1名
のぞみ寮からの異動			サポート91		
2021.4.1	生活支援員	1名	2022.3.31	生活支援員	1名
サポート91からの異動					
2021.4.1	生活支援員	1名			

(3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
4/26～29	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	5名
5/10～13	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	5名
6/17	サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
6/21～24	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	2名
7/14～16	Livedo オンラインおむつ勉強会	オンライン	11名
7月～10月 (計9回)	介護福祉士実務者研修	札幌市	5名
8/16～19	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	1名
8/20	社会福祉法人会計仕分演習セミナー	オンライン	2名
8/24	公開講座～自閉症の特性理解と支援のアイデア	オンライン	5名
8/25	北海道知的障がい関係支援員研修	オンライン	1名
8/25	社会福祉法人会計仕分演習セミナー	オンライン	1名
9/2	全国社会福祉法人経営者大会	オンライン	1名
9/30	クレーマー対応基礎講座	オンライン	1名
10/6	全国知的障害者施設長等会議	オンライン	1名
10/7	人材育成力の向上	オンライン	1名
10/8	ヘルシーネットワークセミナー	オンライン	2名
10/9	心のバリアフリー研修	オンライン	8名
10/10	心のバリアフリー研修	オンライン	4名
10/14～15	看護研修会	オンライン	6名
10/23	社会福祉フォーラム	オンライン	1名
10/27	幹部職員研修・全国知的障がい関係職員研修	オンライン	10名
11/3	自閉症支援を考える	オンライン	9名
11/15	第9回障害者支援施設部会全国大会北海道大会	オンライン	3名
11/19	権利擁護セミナー	オンライン	15名
12/7	相談支援セミナー	オンライン	1名
12/11	5法人ジョイントセミナー	オンライン	4名
12/14～15	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	オンライン	1名

1/19	社会福祉法人予算策定セミナー	オンライン	1名
1/24	特定給食施設等研修会	オンライン	2名
1/26	社会福祉法人決算対策セミナー	オンライン	1名
1/27～28	全国知的障害福祉関係職員研究会	オンライン	2名
2/3	北海道サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
2/7	社会福祉法人会計実務者決算講座	オンライン	2名
2/8	相談支援従事者研修(サビ管向け)	オンライン	1名
2/24	北海道サービス管理責任者基礎研修	オンライン	1名
3/2	心と体を支える栄養管理～栄養士専門研修	オンライン	2名
3/10	北海道サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
3/14	法人役員・施設長専門研修	オンライン	1名

(4)勤務時間

- ・勤務時間帯は現状で特に問題は無かった。夜間においてもバックアップ職員が2名多く配置されていることにより、利用者様の状態に合わせた対応を行う事が出来た。今後も必要に応じた対応を行っていく。

(5)諸会議

- ・定例の会議についてはZOOMも併用し、ほぼ予定通り実施する事が出来た。

【グリーンホーム厚別 概要】

— 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さま一人ひとりが可能な限り、自立した日常生活や楽しい日々を過ごして頂けるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援ならびに、創作活動や生産活動に加え、楽しく体を動かすレクリエーション活動や季節ごとの行事、ドライブ外出等の余暇の機会を提供し、コロナ禍においてもできる限り心豊かな生活となるよう支援を行なった。
- 施設入所支援においては、日中活動と合わせて 24 時間 365 日、利用者さまが健康で充実した生活が送れるよう、夜間や休日の食事、入浴、排泄、睡眠等の日常生活全般のサービスを提供し、健康管理、栄養管理、衛生面について専門職との連携を図りながら支援を行なった。また、加齢化に対する心身の変化にも寄り添い、一人ひとりが健康で安全、安心、快適な生活が送れるよう支援した。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、新型コロナウイルス感染症対策の為受け入れ制限を行い、緊急性の高いニーズにお応えした。

2. 利用者支援

(1) 受け入れ目標

① 知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	60 名(入所契約数 62 名)
受け入れ目標(年間延べ)	22,177 名 (62 人×365 日×0.98)
受け入れ実績	22,204 名

② 知的障がい者、生活介護

利用者の定員	60 名(生活介護契約数 68 名)
受け入れ目標(年間延べ)	17,560 名 (68 人×269 日×0.96)
受け入れ実績	17,583 名

③ 知的障がい児(者)の短期入所の受け入れ

一日の受け入れ枠	6 名
年間延べ	900 名
受け入れ実績	7 名

④知的障がい児(者)日中一時支援事業

一日の受け入れ枠	10名
年間延べ	5名
受け入れ実績	0名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、22,177名の目標に対して実数は22,204名。生活介護においても、目標17,560名のところ実数17,583名の利用で達成出来た。短期入所事業においては、900名の目標に対し実数7名の利用、日中一時支援は5名の目標に対し実数0名で未達成であった。

[施設入所支援]

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2020年度から本年度への繰越人員	35	27	62
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度の利用者総数	35	27	62
本年度中の退所者数	1	0	1
差引本年度から2022年度度への繰越人員数	34	27	61
創立(S51. 6. 1.)以来の利用者総数	121	103	224

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者	62	62	62	62	62	62	62	62	62	61	61	61	741
月平均	60.2	60.6	61.0	61.6	61.7	62.0	62.0	59.7	60.6	59.2	60.3	61.0	60.8
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

③本年度入所者数調べ

男	女	計
0人	0人	0人

④本年度退所者調べ

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設へ異動(医療機関へ)	1	0	1
死 亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	1	0	1

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	36	36	36	36	36	36	36	36	36	35	36	37	432
障害支援区分5	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20	261
障害支援区分4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	47
障害支援区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	62	62	62	62	62	62	62	62	62	61	61	61	741

[生活介護]

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2020年度からの繰越人員	40	28	68
本年度中の入所者数	0	0	0
本年度の利用者総数	40	28	68
本年度中の退所者数	1	0	1
差引本年度から2022年度への繰越人員	39	28	67
S51. 6. 1以来の利用者総数	124	104	228

平成23年度から通所部は生活介護事業所グリーンホーム厚別に統合。

②利用者月別人数調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	68	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67	813
月平均	47.8	47.9	48.5	49.2	48.7	48.7	49.2	49.2	52.1	52.4	46.0	48.3	48.8
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

③本年度入所者調べ

理 由 区 分	男	女	計
他の施設より	0	0	0
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	0	0	0

④本年度退所者調べ

理由区分	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設への異動	1	0	1
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	1	0	1

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	36	36	36	36	36	36	36	36	36	35	36	37	432
障害支援区分5	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	263
障害支援区分4	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	8	7	108
障害支援区分3	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	68	68	68	68	68	68	68	68	68	67	67	67	813

(3)利用者の日課

6:30～	起床、着衣、洗面等
7:00～	掃除
7:30～	朝食
8:00～	歯磨き
9:00～	自由時間
10:00～	日中活動(作業)
12:00～	昼食・歯磨き
13:00～	日中活動(作業)
15:30～	入浴・自由時間
17:30～	夕食
18:00～	歯磨き・洗面
19:00～	自由時間・夜間入浴(希望者)
22:00～	消灯

(4)部門目標(反省)

<生活共通目標>

- ①意思決定に配慮した支援を提供します。
- ②快適に暮らすことが出来る様、生活環境を整えます。

<すずらん>

- ①ア:個々のニーズを踏まえ合理的配慮に着目した支援を行います。

- ・定期的に支援の専門機関に相談する機会を設け、自閉スペクトラム症の利用者に焦点を当てた専門的な支援を実践する事が出来た。一方で、突発的な日課の変更やイベント等においての情報提供が不十分であった。また、催し物やイベント行事等の際に、視覚や聴覚等の感覚過敏の障害特性を持つ利用者が、気分の高揚や興奮をしてしまう事があった。必要に応じて環境や心理的な配慮が必要であった。

イ:障害特性に応じた余暇等の提供について、自己選択、自己決定が出来る様に取り組みます。

- ・定期的なクラブ活動の実施やテイクアウト先の選択肢の幅を広げる等、日々の生活場面においても自己選択、自己決定に配慮した余暇を提供する様努めた。また、寮内でのカラオケや交流ホームひまわりでのTボールを始め、余暇支援のレパートリーを広げる事は出来たが、障害特性に沿った形の内容には至らなかった為、今後改善していきたい。

- ②ア:寮内の整理整頓や清掃体制を整え、常に清潔な環境を維持します。

- ・利用者の居室の清掃や当直室、倉庫等の整理整頓を定期的に行ない、概ね清潔を保つ事が出来たが、常時維持する事は難しかった。今後も継続し取り組んでいきたい。

イ:季節に応じた清潔で適切な衣服を提供します。

- ・季節に応じた衣替えや、寒暖に合わせた衣類の提供を行う事が出来た。定着出来る様に継続していきたい。

<はまなす>

- ①ア:定期的に時間を設け、個々の気持ちや思いに寄り添えられるようにします。

- ・日々のさりげない雰囲気の中で些細な事も聞き漏らさないように利用者の思いを汲み取り、言語による聞き取りが難しい方とは表情の変化や様子を見逃さないようにする事で、利用者の笑顔が見られる場面を増やす事が出来た。

イ:合理的配慮に基づきながら、様々な場面において「選択」が出来る生活を送れるように支援します。

- ・コロナ禍の為、外出先の制限はあったが、必ず複数の選択肢を設けた。また、施設内にある自動販売機の軽食やテイクアウトの出来るお菓子の提供時は、実物を見せて直接「選ぶ」場面を設けた。「利用者が主体」という事を会議の場で話し合い、各職員が意識

を持ちながら支援に努める事が出来た。

②ア: 食事形態や提供の仕方の見直しと口腔ケアのスキルを向上させます。

・食事の様子は栄養士とも適時連携し、迅速に対応する事が出来た。口腔ケアについてはまだ不足感があるが、単なる歯磨きではないという意識が持てるようになってきた。今後はより口腔ケアに関する知識や技術を高めていきたい。

イ: 年間を通した清掃の計画を立て、実施を徹底させます。

・ワックス掛けは計画的に概ね行えた。主に寮内の清掃を細分化し、ひと月を通して取り組めるようにしたが、徹底までには至らない部分もあった。食堂や階段などの共有スペースがすずらんと連携が取りにくい事もあったので、協力し進めていきたい。

<日中活動> (椎茸班、下請班、園芸班、療育班)

①利用者の特性とストレングスに合わせた活動を、作業班の枠を超えて提供出来るように支援をします。

・作業班の枠にとらわれる事なく、班をまたいで活動する事により、利用者の作業の幅を広げる事が出来た。また、出勤率の上昇にも繋がった。

②利用者の健康状態の把握に努め、心身機能の維持または向上が出来るようご本人に合った活動を提供する。

・各個人に合わせたリハビリやストレッチ、音楽活動を提供した。来年度以降は日課に組み込めるようにしたい。

(5) 行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
8月15日	花火大会	グリーンホーム駐車場	38名
11月22日	勤労感謝の会	各寮内	61名
12月24日	すずらんクリスマス会	グリーンホーム食堂	34名
12月25日	はまなすクリスマス会	グリーンホーム食堂	27名
1月3日	年賀状抽選会	グリーンホーム食堂	61名
2月3日	豆まき	はまなすデイルーム、すずらん食堂	60名

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	栄養士	その他の職員	合計	給食業務委託	
								び 契約社員	パート職員及 栄養士他
1	2	(6) 31	(1) 1	1	1	(2)	(9) 37	(8)	(1)

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2021.4.1	生活支援員	3名	2022.1.31	生活支援員	1名
くるみ寮からの異動			退 任		
2021.4.1	支援課長	1名	2022.3.31	生活支援員	5名
2021.4.1	生活支援員	1名	くるみ寮へ異動		
札幌報恩学園からの異動			2022.3.31	サービス管理責任者	1名
2021.4.1	栄養士	1名	札幌報恩学園へ異動		
2021.4.1	生活支援員	1名	2022.3.31	生活支援員	4名
ワークショップ上野幌からの異動					
2021.4.1	生活支援員	2名			
しんさつぼろからの異動					
2021.4.1	相談員	1名			

(3) 職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
・4/24～25	強度行動障がい支援者養成研修(基礎課程)	オンライン	1名
・4/27	医師・看護師向け介護施設クラスター対応研修会	オンライン	2名
・6/25	全道施設長セミナー	オンライン	1名
・7/17～18	強度行動障がい支援者養成研修(基礎課程)	オンライン	1名
・8/5、25	施設経営に生かすための決算書の見方	オンライン	1名
・8/20	全国グループホーム等研修会	オンライン	1名
・8/25	北海道知的障がい関係支援員研修	オンライン	2名
・9/2	社会福祉法人財務分析の手法	オンライン	1名

・9/2	全国社会福祉法人経営者大会	オンライン	1名
・9/4～5	強度行動障がい支援者養成研修(基礎課程)	オンライン	2名
・9/28～30、11/16～17	相談支援従事者研修	オンライン	1名
・9/30	福祉支援にも活用できるクレマ-対応術基礎講座	オンライン	1名
・10/1	給与制度の分析と改定方針の策定法	オンライン	1名
・10/6	全国知的障害関係施設長等会議	オンライン	1名
・10/7	中期経営計画策定の進め方	オンライン	1名
・10/12	北海道・東北ブロック社会福祉法人経営者協議会	オンライン	1名
・10/14～15	看護研修会(知的・発達障害コース)	オンライン	1名
・10/2～3	強度行動障がい支援者養成研修(基礎課程)	オンライン	2名
・10/27	全道知的障がい関係職員研究大会	オンライン	1名
・11/3	基礎から学ぶSDGs	オンライン	1名
・11/15	障害者施設部会全国大会北海道大会	オンライン	5名
・11/19	権利擁護セミナー	オンライン	4名
・11/19～20、1/12	相談支援従事者研修(現任)	オンライン	1名
・12/3	生きるための看取り援助	札幌市	1名
・12/11	5法人ジョイントセミナー	オンライン	3名
・12/11	ソーシャルワーク実習の教育内容と実習評価	オンライン	1名
・1/27～28	全国知的障害福祉関係職員研究会(京都大会)	オンライン	1名
・2/3	北海道サービス管理責任者(更新研修)	オンライン	1名
・2/24	北海道サービス管理責任者(更新研修)	オンライン	1名
・2/10	全道施設長研修会	オンライン	1名
・3/23	栄養士専門研修	オンライン	1名
・3/29	法人役員・施設長専門研修	オンライン	1名

(4)勤務時間

勤務時間帯は現状で問題は無かった。夜間に関しては必要に応じて4名体制を取っていた。通所の送迎に関しても臨機応変に対応することが出来た。今後も利用者様の状態に応じて必要な対応を行っていきたい。

(5)諸会議

定例の会議については、予定通り実施することが出来た。

【そよ風 概要】

— 生活介護 —

1. 支援目標の反省

○「今日も一日楽しかった」と思って頂けるような支援をモットーに、意思決定支援を意識した対応や、ご本人の得意なところや興味、関心に着眼した支援に努めた。また、日常生活上の支援ならびに、創作活動やレクリエーションなどの日中活動、余暇及び季節の行事に工夫を凝らしながら、利用者のみなさまが楽しみながら毎日を送れるよう支援した。

2. 利用者支援

(1) 受け入れ目標

利用定員 20 名(利用契約数 27 名)

受け入れ目標(年間延べ) 6,000 名を目標とする。

(日曜日と冬休みの5日間以外は開所する。)

受け入れ実績 5,464 名

(2) 在籍実績

利用人員目標を 6,000 名としており、実数が 5,464 名となり未達成であった。

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
2020 年度から本年度への繰越人員	14	13	27
本年度中の入所者数	2	0	2
本年度の利用者総数	16	13	29
本年度中の退所者数	0	3	3
差引本年度から 2022 年度への繰越人員数	16	10	26
創立(H18.10.1)以来の利用者総数	53	42	95

②利用者月別人員調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	27	26	26	25	25	26	27	27	27	27	27	27	317
延べ人数	479	448	468	502	461	485	505	488	475	441	209	503	5,464
開所日数	26	26	26	27	26	26	27	25	25	24	24	27	309
月平均	18.4	17.2	18.0	18.6	17.7	18.7	19.4	18.8	19.0	18.4	8.7	18.6	17.86
入所	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
退所	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

③本年度入所者数

理 由 区 分	男	女	計
他の通所施設より	2	0	2
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	0	0
計	2	0	2

④本年度退所者数

理 由 区 分	男	女	計
他施設へ	0	1	1
就労	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	2	2
計	0	3	3

⑤在籍者、程度別調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	159
区分5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
区分4	5	5	5	5	5	6	7	7	7	7	7	7	73
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	26	26	25	25	26	27	27	27	27	27	27	316

(3)日課表

9:30～	登園、視診、ミーティング
10:00～	設定活動、個別活動
11:45～	昼食、歯磨き、休憩
13:00～	個別活動
14:00～	全体活動
15:00～	おやつ(水分補給)
15:30～	帰宅準備
16:00～	帰宅

(4)事業所目標の反省

- ①日中活動センターの環境の改善、活動内容を随時見直します。
・環境の改善や活動内容は随時見直し、場所の変更やメンバーの再構築を行なった。
- ②各クラブ活動の年間の計画を立て、内容の見直し、充実を図ります。
・見通しを持った年間計画により、より充実した活動内容を提供することが出来た。
- ③転倒、事故防止のリスク管理、日課の再構築を行います。
・転倒や事故防止等、毎月話し合いを行ない、導線の見直しや日課の再構築を随時行なった。
- ④意思決定が出来る環境を整え、自身の気持ちを表出する場を設けます。
・現物、絵カード、写真等を個々に合わせて分かりやすく提示した。また、選択してもらう場面を多く設けることで、自分で選べるが増えてきた。

(5)行事報告

実施日	行 事	実施場所	参加者数
7月31日	夏祭り	ライトコート・ダリア	17名
11月23日	感謝の集い	そよ風ホール	16名
12月18日	クリスマス会	そよ風ホール	18名
12月29日	餅つき	そよ風ホール	21名
1月8日	新年会	そよ風ホール	22名
3月3日	ひなまつり	そよ風ホール	21名
3月27日	お楽しみ会	そよ風ホール	13名

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管 理 者	サ ー ビ ス 管 理 責 任 者	生 活 支 援 員	事 務 員	看 護 師	協 力 医	合 計
(1)	1	(5) 10	1	(1)	(3)	(10) 12

※()は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員

(2)職員の異動数

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
2021.4.1	生活支援員	1名	ワークショップ上野幌へ異動		
札幌報恩学園からの異動			2022.3.31	生活支援員	1名
2021.4.1	生活支援員	1名			
グリーンホームからの異動					
2021.4.1	生活支援員	2名			

(3)研修調べ

期 日	研 修 名	開催地	出 席 者
・8/25	北海道知的障がい関係支援員研修	オンライン	1名
・9/4～5	強度行動障がい支援者養成研修(基礎課程)	オンライン	1名
・11/19	権利擁護セミナー	オンライン	1名
・12/11	5 法人ジョイントセミナー	オンライン	1名

(4)勤務時間

勤務時間は現状で問題はなかった。送迎に関しても、状況に合わせて柔軟に対応できた。

(5)諸会議

定例の会議については予定通り実施できた。

【ワークショップ上野幌 概要】

— 生活介護・就労継続支援A・就労継続支援B～多機能型 —

1.支援目標(反省)

○生活介護は、利用者の意思を尊重し、創作的活動又は生産活動の機会を提供し様々な活動・作業を行なった。

○就労継続支援は、利用者の個々の能力・状態に応じた作業支援を行い、働く喜びや経験を積み重ね、一般就労が意識できるよう社会自立の促進をサポートした。

2.利用者支援

(1)受け入れ目標 15,000名(達成率:91.5%)

生活介護定員 20名(契約数 26名) ⇒年間延べ利用者数:5,949名

就労継続支援B型定員 20名(契約数 25名)⇒年間延べ利用者数:5,350名

就労継続支援A型定員 10名(契約数 10名)⇒年間延べ利用者数:2,426名

合計 13,725名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2020年度から本年度への繰越人員	63名
本年度中の入所者数	1名
本年度の利用者総数	63名
本年度中の退所者数	2名
差し引き本年度から2022年度への繰り越し人員	61名
平成13年4月1日開所以来の利用者数	97名

②利用者月別人数調べ

■生活介護事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
延べ人数	532	446	378	540	512	527	541	529	545	528	324	547	5,949
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	26	311
月平均	20.5	17.2	14.5	20.0	19.7	20.3	20.8	20.3	20.2	22.0	13.5	20.3	19.1
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■就労継続支援 B 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	27	27	27	26	26	26	26	26	26	26	25	25	317
延べ人数	483	402	351	492	485	482	486	484	473	458	288	466	5,350
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	26	311
月平均	18.6	15.5	13.5	18.2	18.7	18.5	18.7	18.6	17.5	19.1	12.0	17.3	17.2
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2

■就労継続支援 A 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
延べ人数	216	189	158	211	224	216	224	208	219	225	173	163	2,426
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	365
月平均	7.2	6.1	5.3	6.8	7.2	7.2	7.2	6.9	7.1	7.8	6.2	6.3	6.8
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他事業所へ	0	1	1
家 庭	1	0	1
就 職	0	0	0
計	1	1	2

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他事業所から	0	0	0
家庭から	0	0	0
その他	0	1	1
計	0	1	1

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	59
障害支援区分5	16	16	16	16	16	17	16	16	16	16	16	16	195
障害支援区分4	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	272
障害支援区分3	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	148
障害支援区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
未実施	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	63	63	63	63	62	62	62	62	62	62	61	61	746

(3)利用者日課表

生活介護・就労継続支援B型

就労継続支援A型

9:00	出勤	8:00	出勤	時間内 4時間から 5時間の 就労 (シフト制)		
9:30	朝会					
9:35	生産・日中活動開始					
10:50	休憩					
11:00	活動再開					
12:00	昼食・休憩					
13:00	活動再開					
14:45	コーヒータイム					
15:00	活動再開					
16:00	活動終了				18:00	退勤
16:30	退勤					

(4)部門目標(反省)

■生活介護事業所

- ・個別活動・創作活動を通して、楽しさや充実感を感じられる活動を提供します。
⇒様々な素材を使った創作活動を提供した。出来上がった作品の一部は報恩あーと展に出展できた。作品を大勢の人に見てもらった機会ができたことで、創作活動への意欲も向上した。
- ・利用者様が安心して生活できるように合理的配慮に努めます。
⇒午前・午後のスケジュールの確認や行事等で1日の予定を掲示した。また、利用者様の特性に合わせて、情報を写真やカードを用い、視覚化した支援を行った。

■就労継続支援(B型)

- ・より良い製品を届ける為に技術向上の支援をします。

- ⇒個別に技術指導を行い、利用者の作業技術維持と作業意欲向上に繋がり、丁寧で
きれいな製品・商品を納める事が出来た。
- ・多様な内容の作業種と作業量を提供し、安定した収益の確保に努めます。
- ⇒新規業者から作業受注があり、作業種も2つ増えた。利用者様の特性に合わせて
作業を振り分けることもできた。コロナ感染による休業で作業量が減ったため、収入
は前年度と比較すると減少したが、毎月の工賃は支給できた。
- ・クラブ活動・余暇活動を通して、楽しみや満足感を得られる活動を提供します。
- ⇒利用者様の希望を取り入れて、散歩や創作活動・おやつ作りを行った。良い気分
転換の機会になった。

■就労継続支援(A型)

- ・多様な内容の作業を経験し、スキルの向上につながる支援をします。
- ⇒利用者の希望や個別支援計画に基づき、作業配置と技術支援を行った。職員と
一緒に作業することで繰り返し作業工程の確認をすることで作業技術維持はでき
た。
- ・利用者様とカフェイベントを企画し、楽しさ・達成感を感じられるイベントを開催します。
- ⇒コロナ禍により、大きなイベントはできなかったが入所利用者様に向けて、イベントを
2回実施できた。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
4	26	月	お花見会	法人敷地内	46名
12	25	金	クリスマス会	ワーク食堂	62名
1	7	金	新年会	各作業室	46名
2	3	木	節分	ワーク食堂	52名
3	29	火	慰労会	各作業室	58名

3.職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	職業指導員	目標工賃達成指導員	賃金向上達成指導員	生活支援員	事務員	栄養士	給食職員	看護師	協力医	合計
1	(1)	2	1	1	(9) 11	2	(1) 1	(4)	(1)	(1)	(16) 18

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職名	人数	発令年月日	職名	人数
2021. 4. 1	生活支援員	1名	2022. 3. 31	パート(調理員)	1名
2021. 6. 1	パート(調理員)	1名			
報恩学園からの異動			報恩学園へ異動		
2021. 4. 1	生活支援員	3名	2022. 3. 31	職業指導員	1名
				生活支援員	1名
ホープスからの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
2021. 4. 1	主任	1名	2022. 3. 31	職業指導員	1名
しんさつぼろからの異動			ホープスへ異動		
2021. 4. 1	係長	1名	2022. 3. 31	事務員	1名

(3)職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
4/15	サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
4/20	サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
6/25	令和3年度 全道施設長セミナー	オンライン	1名
8/20	社会福祉法人会計仕分けセミナー	オンライン	1名
8/25	社会福祉法人会計仕分けセミナー	オンライン	1名
9/2	第40回全国社会福祉法人経営者大会	オンライン	1名
10/1	給与制度の分析と改定方針の策定法	オンライン	1名
10/6.7	令和3年度 全道知的障害関係施設長会議	オンライン	1名
10/12	令和3年度 北海道・東北ブロックセミナーin 宮城	オンライン	1名
10/15	令和3年度 日中活動支援部会全国大会秋田大会	オンライン	1名
10/27	幹部職員研修 令和3年度全道知的障がい	オンライン	1名

関係職員研究大会			
10/30.31	強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	オンライン	1名
11/15	令和3年度 第9回障害者支援施設部会 全国大会	オンライン	2名
11/19	権利擁護セミナー	オンライン	1名
11/20.21	強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	オンライン	1名
12/8	第9回 全国生産活動就労支援部会 職員研修会	オンライン	1名
12/14.15	令和3年度 虐待防止・権利擁護指導者養成研修	オンライン	1名
12/22	令和3年度 5法人ジョイントセミナー	オンライン	3名
12/24.25	小型車両系建設機械(整地等)運転特別教育	オンライン	1名
1/20	令和3年度 北海道障がい者虐待防止権利擁護研修	オンライン	1名
2/3	サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
2/4	第33回 関東甲信越静ブロックセミナー 東京大会	オンライン	1名
2/10	令和3年度 全道施設長研修会	オンライン	1名
2/17	栄養士専門研修 (初任者向け)	オンライン	1名
3/10	令和3年度「北海道災害派遣福祉チーム」登録職員研修	オンライン	1名
3/10	サービス管理責任者更新研修	オンライン	1名
3/12	栄養士専門研修	オンライン	1名
3/16	法人役員・施設長研修	オンライン	1名

(4)勤務時間

- ・就労継続支援A型の業務見直しにより、職員出勤時間を7時半から8時半に変更した。

(5)諸会議

- ・定例会議は予定通り実施することができた。事業所ごとの会議を行い、活動・作業内容の振り返りと利用者支援についての情報共有を行った

【のぞみ寮 概要】

— 宿泊型自立訓練・短期入所—

1. 支援目標(反省)

○一般就労や障害福祉サービスの利用者さまを対象に社会生活に必要な自立訓練を行ない、生活スキル及び社会適応能力の向上を目指し、円滑な地域移行の促進を図るべく、以下の事業を実施した。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 6,100 名 実績:5,436 名
 ・年間利用者延べ人数(短期入所) ～ 100 名 実績 353 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
2020年度からの繰り越し人数	5名	6名	11名
本年度中の入所者数	4名	4名	8名
本年度中の利用者総数	9名	10名	19名
本年度中の退所者数	5名	3名	8名
差引本年度から2022年度への繰越人員	6名	7名	13名
創立以来(通勤センターから)の利用者数	124名	99名	223名

②利用者月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
契約者数	15名	15名	17名	16名	16名	15名
入所	0名	0名	2名	0名	0名	0名
退所	0名	0名	0名	1名	0名	1名

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	15名	15名	15名	15名	14名	13名	181名
	0名	1名	0名	0名	0名	4名	8名
	0名	0名	0名	0名	1名	5名	11名

③在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分2	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3	2	50
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当	10	10	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	131
計	15	15	17	16	16	15	15	15	15	15	14	13	181

④本年度短期入所者調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男	0名(0日)	0名(0日)	1名(4日)	1名(8日)	0名(0日)	1名(5日)
女	1名(30日)	1名(30日)	1名(30日)	1名(30日)	1名(30日)	1名(30日)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3名(16日)	1名(12日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	16名
1名(30日)	1名(30日)	1名(30日)	1名(12日)	1名(2日)	2名(24日)	(353日)

⑤本年度退所者調べ

事由	男	女
GHへ	2名	3名
家庭	1名	0名
単身生活	2名	0名
他施設へ	0名	1名
合計	5名	3名

(3)日課表(仕事の関係上この限りではなく一応の目安)及び行事

<日課>

6:30	起床(各自)
7:15	朝食・出勤(各自)
12:30	昼食(休日)
18:30	夕食
19:00	入浴・自由時間
22:00	消灯

<行事>

- ・ 5月 1日 ゴールデンウィーク企画 バーベキュー
- ・ 5月 15日 歓迎会
- ・ 11月(分散実施) 味覚祭:食事会
- ・ 1月 1日 年末年始食事会
- ・ 1月13日 成人のお祝い会

(4)ブロック目標(反省)

- ・地域移行に向けた具体的な研修プログラムを検討実施します。
⇒作成したカリキュラムを参考にしながら、支援に役立てた。
- ・利用者定員 20名の満床を目指します。(空床時の短期入所利用促進)
⇒新規受け入れがうまく進まなかった。入所と退所のバランスについて検討課題となっている。
- ・利用者の希望に即した地域移行を年度内に6～7名の実現を目指します。
⇒8名の地域移行を達成する事ができた。
- ・次年度の利用者獲得の為、各学校等との情報交換や実習受け入れを行います。
⇒次年度受け入れに向けての高校3年生等の受け入れを10件行なった。
- ・北海道地域定着支援センターと連携し、受け入れ検討を勧めます。
⇒ニーズへの支援調整が今後の課題として残った。
- ・利用者自治会による自主的企画を基本に、地域活動や勉強会、くるみ寮との交流行事等を行います。
⇒コロナ対策に配慮しながら、それぞれの会をバックアップし実施した。
- ・利用者個々のカンファレンスが即時実行出来るような体制づくりを行います。
⇒利用者様に変化があった際には適時カンファレンスを実施する事が出来た。
- ・くるみ寮との連携の強化をはじめ、関係専門機関との連携を図ります。
⇒学校、相談支援事業所、職場、就業・生活相談室などとの連携を更に深める事が出来た。
- ・研修参加や施設内研修を実施する事で障がい特性に応じた支援を行います。
⇒各種外部研修(リモート研修)に参加し、支援に活かすことができた。
- ・利用者の夜間早朝の生活訓練の充実を目指し夜間支援体制の強化を図ります。
⇒夜間支援員を配置し、生活支援員と共に支援にあたった。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数

管理者	サービス管理責任者	夜間支援員・生活支援員	地域移行支援員	栄養士	看護師	合計
(1)	1	(5) 2	(1) 1	(1)	(1)	(9) 4

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
札幌報恩学園からの異動			2022.3.31	管理者	1名
2021.4.1	地域移行支援員	1名	札幌報恩学園へ異動		
2021.4.1	生活支援員	1名	2022.3.31	サービス管理責任者	1名
			ワークショップ上野幌へ異動		
			2022.3.31	事務員(生活支援員)	1名

(3) 職員の研修

日付	研修名	場所	人数
7/5-8	北海道行動援護従事者養成研修	オンライン	1名
8/25	北海道知的障がい福祉協会関係職員研修会	オンライン	1名
9/4-5	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	オンライン	1名
9/14	「知っておきたい依存症」研修	オンライン	1名
10/6-7	全国知的障がい関係施設長等会議	オンライン	1名
10/27	令和3年度幹部職員研修会	札幌	1名
12/3	北海道家族会連合会勉強会	オンライン	1名
12/3	札幌市障がい者虐待防止研修(アーカイブ配信)	オンライン	1名
2/3	「発達障がいとパートナー家族関係を考える」研修会	札幌	1名
2/17	防火管理者(甲種)研修	札幌	1名

(4) 勤務時間

- 朝夕の支援が中心となることから、職員が出来る限り複数体制で利用者ニーズに対して、支援が出来るよう努めた。また、夜間支援職員の配置があることで厚みのある支援へとつながった。機関会議など頻繁に行われる状況にあり、その都度職員間で協力体制を作り対応に努めた。

(5) 諸会議

- 各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の継続、グリーンホーム厚別給食会議参加、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等3カ月1回開催により法人内各事業所との連携を継続できた。
- 学校、能力開発センター、相談支援事業所関係者等との調整会議を実施した。
- コロナ禍であり、リモートでの会議も複数回実施した。

【くるみ寮 概要】

— 共同生活援助～介護サービス包括型 —

1. 支援目標(反省)

- 利用者様が地域において日常生活を営むことが出来るよう、身体及び精神の状況並びに各々が置かれている環境に応じて支援を行なった。
- 各々のニーズに的確に応えられるよう支援活動を行なった。

2. 利用者支援

(1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 26,500 名 実数:26,148 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
2020 年度から本年度への繰越員数	57 名	16 名	73 名
本年度中の入所者数	1 名	0 名	1 名
本年度中の利用者総数	58 名	16 名	74 名
本年度中の退所者数	0 名	0 名	0 名
差引本年度から 2022 年度への繰越人員	58 名	16 名	74 名
創立以来(平成 22 年一体型以来)の利用者数	78 名	32 名	110 名

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
契約者数	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	74	877
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分 6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
障害支援区分 5	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	122
障害支援区分 4	16	16	16	16	16	18	18	18	18	18	17	17	204
障害支援区分 3	24	24	24	24	24	23	23	23	23	23	24	23	282
障害支援区分 2	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	18	210
障害支援区分 1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
計	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	876

※区分変更者あり

④退所者調べ

事由	男	女
他施設へ	0名	0名
家庭	0名	0名
その他	0名	0名
合計	0名	0名

(3)日課、行事

<日課>

- ・利用者さんの生活状況に合わせ、ホーム毎に日課を組み立てている。

<行事>

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い全体行事は昨年に引き続き中止とした。
- ・季節行事は、ホーム単位など小規模企画に変更して、感染症対策を徹底して行った。

(4)ブロック目標(反省)

- ・余暇の充実を図り、生活の質の向上をめざす。
⇒余暇支援については、新型コロナ感染症の関係で外出制限が続いているが、買い物等の最小限の楽しみを維持出来るように工夫して取り組む事が出来た。
- ・分散して暮らす GH 利用者の災害発生時に適切に対処できるように体制を整える。
⇒各ホームそれぞれ年間 3 回の避難訓練を実施し、緊急時の連絡体制等について確認することが出来た。非常食の消費期限を確認し、必要な分の入替えを行った。
- ・GH の支援の質の向上を目指し、研修会を実施する。
⇒ZOOMや配信の研修を活用し、外部研修に参加することが出来た。
- ・GH 利用者の成年後見制度の利用促進を図る。
⇒年度内に9名の方の成年後見制度利用手続きを進めることが出来た。

・日々の健康管理と疾病・感染症等の予防体制の強化を図る。

⇒看護師を中心にコロナウイルスへの対策を実施した。年度内に3度コロナウイルスの感染が起こってしまったが、感染対策を徹底することで、拡大を最小限に抑えることが出来た。今後感染者を出さない為に、引き続き感染症対策を徹底する必要がある。

・利用者支援を効率的・効果的に行うため GH 運営の仕方について検討し構築する。

⇒新しい運営体制について、利用者のニーズや職員体制等の検討を行ったが、新体制の構築には至らなかった。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	世話人	合計
1	(2) 1	(2) 8	(1) 1	(1)	(63)	(69) 11

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	氏名	発令	職名	氏名
2021. 4. 1～	世話人他	7名	2022. 3. 31	管理者	1名
札幌報恩学園より異動			2021. 4. 1～22. 3. 31	世話人他	2名
2021. 4. 1	支援課長	1名	幌西ほうおんへ異動		
2021. 4. 1	生活支援員	2名	2022. 3. 31	支援課長(所長)	1名
			のぞみ寮へ異動		
			2022. 3. 31	支援係長	1名
			ワークショップ上野幌へ異動		
			2022. 3. 31	生活支援員	1名
			札幌報恩学園へ異動		
			2022. 3. 31	生活支援員	2名

(3)研修調べ(外部研修)

日付	研修名	場所	人数
6/17	2021年度北海道サービス管理責任者更新研修	Zoom	1名
8/20	グループホーム全国大会	web	1名
8/24~26	2021年度北海道サービス管理責任者初任者研修	Zoom	1名
10/9	心のバリアフリー研修	web	1名
10/12	2021年度北海道相談支援従事者研修(サビ管向け)	Zoom	1名
10/23	社会福祉フォーラム	web	2名
10/27	福祉協会幹部研修	web	3名
11/19	福祉協会権利擁護研修	web	1名
11/25	障がい者雇用同友会研修	web	2名

(4)勤務時間

- 7:00 から 20:00 の日中帯の支援においては、早出、日勤、遅出の組み合わせのシフト制で問題なく対応している。
- 世話人は朝(7:00~9:00)と夕(16:00~20:00)の支援に入っている。朝のみ、夕のみの方と中抜き勤務している方がおり、組み合わせて各ホームの支援を行っている。世話人の都合がつかない日は支援員が対応することで、問題なく支援が行えている。
- 20:00~8:30までは転送電話で対応している。

(5)諸会議

- 毎日9:30と11:30に打ち合わせを行い職員間の情報共有を行うことが出来た。
- 年4回の各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)に参加した。
- ワークショップ上野幌の給食会議参加に参加した。
- 個別支援計画の策定及びモニタリング会議等により法人内各事業所と連携して支援にあたる事が出来た。
- 毎月各ホーム会議を行い、日々の課題の解決に努めるとともに、世話人と支援員の共通認識をはかり支援の方向性を確認する事が出来た。
- くろみ寮支援会議を毎月定例開催出来た。

【ホープス 概要】

—就労継続支援(B型)・就労移行支援～多機能型—

1. 支援目標(反省)

- ・就労移行支援では、最終年の取り組みを行なったがコロナ禍の影響もあり職場実習などを行う事が出来ず就職には結び付かなかった。次年度1年延長となった為、具体的な取り組みを行っていく。
- ・新たな看板設置やホームページの更新などで広報活動を行なったが、就労移行の定員6名を満たすことが出来なかった。
- ・前年度実習を受けた高等養護学校の卒業生が就労継続支援B型の利用を開始した。
- ・利用者さん個々の状況、能力に合わせて様々な作業を提供することが出来た。

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

- ① 就労移行支援定員 6 名(契約者数:1 名)
 就労継続支援 B 型定員 14 名(契約数 16 名)
 年間受入目標(年間延べ) 5,400 名(4,015 名)
 年間受入実績 移行:389 名(利用率 16.1%) B 型:3,626 名(利用率 85.4%)

(2)利用者の在籍数、実績数

①利用者人数調べ

	男	女	計
2020 年度から本年度への繰越人員	15	1	16
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度中の利用者数	16	1	17
本年度中の退所者数	0	0	0
差引本年度から 2022 年度への繰越人員	15	1	16
創立以来の利用者数	50	9	59

②利用者月別人数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
契約者数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
月平均	12.6	12.8	11.3	12.8	12.8	13.0	12.8	12.9	12.5	12.7	10.0	12.0	12.35
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③本年度入所利用者調べ

入所者数	男	女	計
	1	0	1

④本年度退所利用者調べ

	男	女	計
一般企業への就職	0	0	0
他の福祉事業所の利用	0	0	0
入所施設	0	0	0
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
その他	0	0	0

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害支援区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害支援区分5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分4	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19
障害支援区分3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
障害支援区分2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	17
障害支援区分1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204

(3)利用者の日課表

・9:00より通所の受け入れを行い、9:30～16:30まで作業を行った。

(4)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
4月30日	お花見会	ホープス事業所内	12名
12月27日	忘年会	ホープス事業所内	12名
1月24日	新年会	ホープス事業所内	10名
2月2日	節分	ホープス事業所内	13名
3月21日	慰労会	ホープス事業所内	12名

※社会見学、一泊旅行はコロナ禍のため中止となった。

(5)事業所目標(反省)

- ①就労移行支援利用希望者の獲得、一般就労を目指す。
 - ・各養護学校と訪問時や電話でのやり取りの際に情報交換を行なった。次年度受け入れについては卒業生の進路が決まっていた新規獲得には至らなかった。
 - ・実習生1名と相談登録者の現場実習1名の受け入れを行う事が出来た。
 - ・新規獲得、一般就労には至らなかった。就労移行利用者が1年延長の見込みな為、次年度で能力開発センターの利用や就労に繋がる取り組みを行っていく。
 - ・法人内の作業や事業所の体験、見学の実施やインターンシップ制度を利用した企業での職場体験実習を整備していく。
- ②作業内容に合った作業場の構造化を行う。
 - ・利用者の特性を把握し、各作業場を改善する事で効率化を行い、スキルアップに繋げる事が出来た。
 - ・利用者自治会で意見を募り、食堂の改善を行いました。雑誌等を増やす事や各行事のアルバム作成を行い余暇時間に楽しんで頂く事が出来た。
 - ・座って銅線作業等を出来る様に工夫しましたが、上手く使われていなかった為、次年度改善していく。
- ③現行の作業内容の精査と効率化を図り、利用者の現状に合った作業内容に移行する。
 - ・作業効率化の為に日々職員間で情報の共有と意見交換を行なったが、精査までには至らなかった。
 - ・事業所内研修までは至らなかったが、利用者個々の強みや課題を見出し、作業内容の変更や新たな取り組みを試みた。利用者の新たな強みを知り、活動の幅を広げる事が出来た。
- ④前年比10%増の収入を目指す。
 - ・価格の見直しを行った事やポストイン作業の受注、清掃回数が増えた事により前年比10%増の収入を維持する事が出来た。
 - ・現状の向上・維持に向けて作業内容の整理、効率化も併せて見直していく。
- ⑤計画的に研修を受講し1人1回/年を維持する。
 - ・感染症の影響により多くの研修に参加する事は出来なかったが、1人1回は参加する事が出来た。
 - ・今後は作業精度の向上や職員のスキルアップの為にも計画的に研修を受講していく必要がある。(ワックス美装、刈払機取扱作業、就労基礎研修等)

3. 職員の勤務状況

(1) 職員の在籍数調べ ※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

管理者	サービス管理責任者	就労移行支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	生活支援員	事務員	看護師	協力医	合計
1	1	1	(1)	2	(2)	1	(1)	(1)	(5) 6

(2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2021. 4. 1～	主任	1名	2022. 3. 31	主任	1名
札幌報恩学園より異動			ワークショップ上野幌へ異動		
2021. 4. 1	職業指導員	1名	2021. 3. 31	目標工賃達成指導員	1名
グリーンホーム厚別より異動			くろみ寮へ異動		

(3) 職員の研修

日付	研修名	場所	人数
6/22～24	就業支援基礎研修	札幌	1名
9/7	就労支援経営セミナー	Zoom	1名
10/6～8	就業支援基礎研修	札幌	1名
10/19	雇用管理責任者研修	Zoom	1名
10/28	外国人介護人材研修	Zoom	1名
2/16	JC-NET 就労支援基礎セミナー	Zoom	1名
2/17	北海道サービス管理責任者更新研修	Zoom	1名

(4) 勤務時間

- ・職員の勤務時間は 9:00～17:30 で特に問題なかった。
- ・大雪の影響で数名、大幅な遅刻や出勤出来ない日があった。

(5) 諸会議

- ・支援会議は利用者が退勤後に行う事で、特に問題はなかった。法人全体にかかわる他の会議は、担当職員のみ出席することで作業には影響なかった。

【サポート91 概要】

—居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援—

1. 支援目標(反省)

- ・利用される方が居宅やグループホームにおいて自立した豊かな生活が送れるよう通院や余暇の支援を行なった。
- ・今年度もコロナの影響があり、感染状況や情勢を踏まえて支援を提供した。人が集まる場所を避けたり、店内飲食を中止し、テイクアウト対応としたり、ご自宅での支援や外での支援を中心に行なった。

2. 利用者支援

(1)利用者の受入目標

- ・3月31日現在の契約者数は82名、うち居宅介護(ご自宅での見守り、入浴などの支援等)43名、行動援護(外出時の付き添い等)22名、同行援護(視覚に障がいのある方の支援)3名、移動支援(札幌市の制度、外出の付き添い等の支援)42名、私的契約(制度では賄えない部分の支援、通学時の支援、事業所とご自宅の送迎等)42名、重度訪問介護(ご自宅での重度重複障がいの方の支援等)2名となっている。(重複者含む)2021年度は新規契約者数5名だった。新規の問い合わせも月に2、3件あったが、すべてにお応えすることは出来なかった。登録ヘルパーの増員により受入を増やしていくことが可能になると思われる。

(2)利用者契約者数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護

(単位:人、毎月初日)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	42	42	42	42	42	42	42	42	42	43	43	43	507
重度訪問介護	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20
行動援護	20	20	20	20	21	22	22	22	22	22	22	22	255
同行援護	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	30
合計	65	65	65	65	66	67	68	68	68	69	69	69	804

(3)利用者延べ人数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護(単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	23	25	28	31	24	27	32	36	36	27	12	27	328
重度訪問介護	22	20	26	24	29	27	23	25	29	27	20	32	304
行動援護	18	15	15	36	39	39	46	47	47	50	23	46	421
同行援護	6	6	6	5	7	6	13	13	12	10	9	13	106
合計	69	66	75	96	99	99	114	121	124	114	64	118	1159

(4)利用者契約者数調べ～移動支援 (単位:人)

区分													現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42

(5)利用者延人数調べ～移動支援 (単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	8	7	7	21	25	28	24	27	27	26	18	23	241

(6)契約者総数 (単位:人)

区分													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
重度訪問介護	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
行動援護	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
同行援護	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	5
移動支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7)事業所目標(反省)

①身体介護 2 件、通院介助の契約を増やす。

- ・相談室や障害福祉サービス事業所などへ情報公開を積極的に行い、コロナ禍の中でも目標以上の新規契約を複数承ることが出来た。
- ・重度訪問介護(身体介護)、同行援護、行動援護等の地域のニーズに応える面と経営面の両方が充足する支援の契約を結び、支援の幅を広げることが出来た。
- ・現在よりも契約、稼働数を拡充する為には、経営面を考慮して非常勤を増やす必要がある。

②公用車の購入を検討する。

- ・24 時間 TV の車両寄贈に申し込んだが落選した。
- ・コロナ禍でも有償運送等の収入は例年より向上した。購入の場合は5～6 年で減価償却を、リース契約は月々の有償運送費の収入で支払いが可能との算定が出来た。今後は購入及びリース契約に向けた資料作りを行っていく。

③居宅介護事業の質の向上を図る。

- ・オンライン開催の外部研修に積極的に参加した。
- ・月に 2 回の会議で支援計画の見直し、再確認を行ない質の向上を図った。今後は更にどのような質を向上する必要があるのかを事業所内で議論を重ねていく。
- ・支援で利用者様が求めるクオリティの見極めが不十分で、実践する事が出来なかった部分がありました。来年度へ向けて事業所全体でフィードバックをしながら質の向上を図る。

④年に 6 回事業所内で研修を計画・実施する。

- ・年に 6 回以上の事業所内研修を行う事が出来た。
- ・1 人ずつ違う視点で行い、わからない所をすぐに質問出来る研修で様々な分野について学ぶ事が出来た。

3、職員の勤務状況

(1)職員の在籍数

管理者	サービス提供責任者	サービス提供従事者	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	2	(2) 2	(1)	(1)	(1)	(6) 4

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
2021. 4. 1～	サービス提供従事者	2名	2022. 3. 31	支援係長	2名
札幌報恩学園より異動			札幌報恩学園へ異動		

(3)職員の研修

日付	研修名	場所	人数
5/10～13	北海道行動援護従業者養成研修	Zoom	1名
5/28	～みんなで知ろう～ 発達障がい講座	Zoom	1名
7/9	福祉有償運送運転者認定講習・セダン等運転者講習	札幌	2名
9/23	医療・介護従事者のための新型コロナウイルス感染予防講座	Zoom	2名
10/30	発達障がい支援のミライ	Zoom	1名
11/3	自閉症支援を考える	Zoom	2名
11/4	北海道サービス管理責任者更新研修	Zoom	1名
11/22,29	同行援護従事者養成研修一般課程	札幌	1名
11/29.12.6	個別支援計画事業者研修会(基礎研修)	Zoom	1名

※その他、登録ヘルパーの研修を事業所で1回行なった。

(4)勤務時間

- ・通常勤務は 9:30～18:00 となっているが、支援内容によっては勤務時間の変更を随時行なった。

(5)諸会議

- ・支援の調整を行うことで月1回のケース・技術指導会議と個別支援計画検討会議を開催できた。

【ステーション106 概要】

— 相談支援 —

1. 支援目標(反省)

- ・サービス等利用計画作成の契約者数が 270 人を超し、計画作成件数、モニタリング件数が 620 件を超えているが、今後も丁寧なアセスメントを心がけていく。
- ・研修がオンラインでの開催となっており、他機関との連携が図りづらくなっているが、今後も厚別区内の委託事業所や指定事業所と情報を共有しながら対応していきたい。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
2020 年度からの本年度への繰越契約者数	179	89	268
本年度中の新規契約者数	8	2	10
本年度中のサービス等利用計画作成件数	131	70	201
本年度中のモニタリング件数	220	204	424
本年度中の契約解消者数	5	2	7
創立以来の契約者数	200	107	307

② 新規契約者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体													0
重心													0
知的	2	1			1	1	1		2		1	1	10
精神													0
発達													0
高次脳													0
難病													0
その他													0
計	2	1	0	0	1	1	1	0	2	0	1	1	10

③相談月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	2	3	2	0	2	2	2	1	2	2	1	1	20
契約者数	2	1	0	0	1	1	1	0	2	0	1	1	10

(2)事業所目標(反省)

①サービス等利用計画の受入件数の拡充を目指す。

10名と新規契約し、サービス等利用計画の作成を実施した。また、ステーション106として初めて障がい児の計画作成にも取り組み、今後の可能性を広げることができた。

②サービス等利用計画作成のために支援の質の向上を図る。

研修会への参加をはじめ、実際に計画作成を実施しながら、制度について学ぶ機会を持つことができた。障がい児の計画相談については、作成を通して知識不足な面を感じたため、今後もさらに学びを得る機会を持つ必要がある。

③事業に必要な資格を有するための研修を受講する。

今年度は基礎研修1名、現任研修3名受講した。基礎研修、現任研修ともに申込みをしても受講できないことがあるため、今後も計画的に研修受講を進めていく必要がある。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	(3) 1	(1)	(1)	(1)	(7) 1

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
2021.4.1	相談員	1名			

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
8/6	相談支援部会オンラインミニセミナー	オンライン	1名
8/31	発達障がい特性を背景にもつひきこもりケースのチーム支援	オンライン	1名
9/4	広めよう発達障がいの理解	オンライン	1名
9/10	相談支援部会オンラインミニセミナー	オンライン	1名
12/7	コロナ禍における相談支援の在り方	オンライン	2名
12/23、24	障害者差別解消法道民フォーラム	オンライン	2名
1/25	フォローアップ研修	オンライン	1名
2/15	相談支援従事者研修専門別コース	オンライン	1名

(4)勤務時間

・一般就労をされている利用者の方に聞き取りをする際に 18 時以降の面談実施が必要となるが、勤務時間の調整を行い、問題なく実施することができた。

(5)諸会議

- ・ステーション106の会議を通して、職員間の情報共有を図った。
- ・開催日時はその都度調整し、問題なく行えた。

【就業・生活相談室しんさっぽろ 概要】

— 就業・生活相談 —

1. 支援目標:達成度

・札幌市の委託事業である「就業・生活相談支援事業」を受託し9年目の年となった。
相談員とジョブサポーターが連携を図りながら、相談者の「働きたい」という思いに応える支援を展開し、就職者が年間29名と目標を達成することが出来た。

2. 利用者支援

(1) 在籍実績

① 利用人数調べ

	男	女	計
2020年度からの本年度への繰越登録者数	109	54	163
本年度中の新規登録者数	26	17	43
本年度中の登録相談者数	143	63	206
本年度中の登録抹消者数	16	8	24
創立以来の登録者数	312	186	498

② 新規登録者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体			1									2	3
重心													0
知的	2		2			1		1			2	8	16
精神	3	2		2	2	3	4		1		1	2	20
発達					1	1	1	1					4
高次脳													0
難病													0
その他													0
計	5	2	3	2	3	5	5	2	1	0	3	12	43

③ 相談月別人数調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	15	12	15	9	13	8	18	7	12	11	6	19	145
登録者数	5	2	3	2	3	5	5	2	1	0	3	12	43

(2)事業所目標(反省)

①年間就職者数 26 名を目標とする

・今年度は 29 名の方が就職され、目標を達成することが出来た。

②支援の質を向上させる

・勉強会とケース検討会を月 1 回ずつ開催し、知識向上と支援方法の幅を広げること努力めた。勉強会の内容についても職員間で意見を出し合い、支援に役立つテーマを選出し、学ぶことができた。

③タイムリーな面談対応を目指す

・コロナ感染拡大の影響もあり、新規相談の件数が少ない月もあったため、3 週間程度で面談を実施することができていた。今後も新規相談の電話対応についての振り返りやロールプレイを実施することで、タイムリーな面談対応を行っていく。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	ジョブサポーター	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	4	2	(1)	(1)	(1)	(4) 6

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
2021.4.1	ジョブサポーター	1 名	2022.3.31	ジョブサポーター	1 名
2021.11.1	ジョブサポーター	1 名			

(3)職員の研修

日程	研修名	場所	人数
5/14	北海道障害者職業センター業務説明会	札幌市	2 人
5/20・27	発達障害講座 Standard	オンライン	2 人
6/4	就労支援推進部会定例会	オンライン	2 人
6/22,23,24	就業支援基礎研修	札幌市	1 人

6/28	さぼコン～若手支援者の意見を聴く会～	オンライン	1人
6/8,9,10,11	職場適応援助者養成研修(集合)	千葉県	1人
7/6,8,9	職場適応者養成研修(事務研修)	札幌市	1人
8/10,11	相談支援従事者現任研修	札幌市	1人
8/21	発達障害のある人の就労から学ぶ支援の実際	オンライン	2人
8/31	発達障害特性を背景に持つ引きこもりケースのチーム支援	オンライン	1人
9/4	精神科病院の問題と精神障害者の地域生活移行における課題	オンライン	3人
9/9	一般就労に向けたアセスメントについて	オンライン	5人
9/14	依存症について 札幌 CBT & EAPセンターオンラインセミナー	オンライン	1人
10/4	相談支援従事者現任研修	オンライン	1人
10/6,7,8	就業支援基礎研修	札幌市	1人
11/25	障害者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム	オンライン	3人
1/14	メンタルヘルス不調者の復職で押さえておきたいポイント 札幌 CBT & EAPセンターオンラインセミナー	オンライン	1人
1/25	発達障害特性を背景に持つ引きこもりケースのチーム支援	オンライン	1人
2/1	障害者雇用セミナー	オンライン	3人
2/4,5	行動障害支援者養成研修	オンライン	1人
2/4,7,8	発達障害地域生活・就労支援者研修会	オンライン	1人
2/8	難病患者の就労支援のweb講習会	オンライン	2人
2/16	JC-NET 就労基礎支援セミナー	オンライン	3人
アーカイブ	全国知的障害福祉関係職員研究大会	オンライン	1人
3/2	職業準備支援説明会	札幌市	1人
3/12,13	CEF2022 質の高い障害者雇用を考える会議	オンライン	1人

(4)勤務時間

・支援に合わせて勤務調整を行い、問題なく運営することが出来た。

(5)諸会議

・職員会議は協議する内容を簡潔にまとめる事が出来た。

・施設連絡会議等で法人内の情報についても共有を図ることが出来た。

・外部の関係機関との会議の多くはオンラインでの開催がされた。

・就労支援推進部会、就業・生活相談室連絡会議等には参加し、情報共有を行うことができた。

・利用園児(入所)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	65	67	66	66	67	68	68	68	69	69	70	70	813
入所	8	2	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	14
退所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	17

・利用園児(一時保育)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	0	0	0	4	6	2	1	3	1	3	1	1	22
延べ人数	0	0	0	4	8	2	2	7	3	6	7	3	39

・月別人数調べ(時間外保育)

標準 18:00~19:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	18	13	13	10	15	14	17	21	21	21	19	16	198
延べ人数	81	62	48	63	55	76	76	64	69	60	72	73	799

(3) 日課表

《 0才児/1・2才児 》		《 3才~5才児 》	
7:00	登園 混合保育	7:00	登園 混合保育
9:00	1・2歳未満児午前おやつ	9:20	3才以上児混合保育
10:00	クラス保育	10:00	クラス保育
10:30	0才児離乳食(月齢時間差有)		
11:15	1才児食事(2才児時間差有)		
12:10	午睡(年齢により時間差有)	11:30	食事
14:30	目覚め・着替え	13:00	午睡
14:40	午後離乳食(7/8か月以降児)	14:30	目覚め・着替え
15:00	1・2才児 おやつ	15:00	おやつ
16:00	1・2才児混合保育 随時降園	16:00	混合保育 随時降園
18:00	延長保育	18:00	延長保育
18:15	延長おやつ	18:15	延長おやつ
19:00	降園	19:00	降園

(4) 行事報告

- ・ 誕生会(毎月)
- ・ 園医小児科健診(3才以上児年2回 2歳未満児年4回 4/7/10/1月)
- ・ 避難訓練(毎月)第2週木曜日・・・火災・地震・不審者侵入3つを訓練時間や職員人数、避難場所(園内、園庭、駐車場)等変更し消火器の場所確認、初期消火及び通報訓練を実施した。

月 日	対象年齢	行 事 名
4月1日(木)10:00～	全園児	第10回入園進級式
4月30日(金)10:00～	全園児	子どもの日のつどい
5月1日(金)11:00～	2才以上	畑作り(予定変更有)
5月17日(月)～26日(水)	保護者(夕方)	クラス懇談会(6日間) 中止
6月22日(金)10:00～	全園児	春の交通安全教室 中止
6月28日(月)10:00～	全園児	プール開き
7月2日(金)9:45～	全園児	歯科検診(6/4より変更)
7月10日(土)9:30～	全園児	保育参観 中止
7月12日～30日(月～金)	たてわり(3～5才児)	個別懇談(4日間ずつ)
8月2日(月)～5日(金)	0才児保護者	クラス個別懇談(6/18～23変更)
8月6日(水)10:00～	全園児	七夕会
8月18日(火)～21日(金)	2才児保護者	クラス個別懇談(6/24～29変更)
8月19日(水)10:00～	全園児	不審者講習(厚別警察)
9月11日(土)9:30～	全園児	第10回運動会(人数制限)
9月17日(金)9:30～	2才児	みかん遠足
9月22日(金)9:30～	3, 4, 5才児	たてわり遠足
10月15日(水)12:30～	3, 4, 5才児	バス遠足(円山動物園)(7/2変更)
10月29日(金)10:00～	2才以上児	カレークッキング
11月27日(土)9:30～	全園児	第10回生活発表会(人数制限)
12月3日(金)10:00～	全園児	冬の交通安全教室 中止
12月10日(金)10:00～	全園児	もちつき会
12月24日(金)10:00～	全園児	クリスマス会
12月28日(火)10:00～	全園児	まゆ玉飾り
12月29日(水)～1月3日(月)		年末年始の休園
1月4日(火)	全園児	お正月の会
1月21日(金)	5才児保護者	年長にじ組懇談会(中止)
2月3日(木)	全園児	豆まき会
2月17日(木)	全園児	スノーフェスティバル
2月14日(月)～24日(木)	保護者(夕方)	各クラス期末懇談会(内6日間)中止
2月27日(土)	新入園児	新入児オリエンテーション
3月3日(木)	全園児	ひな祭り会
3月12日(土)	年長児・4才児	第10回卒園式
3月24日(木)	年長児3, 4才児	お別れ会
3月26日(土)	全園児	新年度準備
3月30日(水)～31日(木)	全園児	新年度クラス慣らし保育期間
3月31日(木)	年長児	月寒あんぱん和菓子作り体験(中止簡易実施)

(5) ブロック目標(クラス反省)

- ・0才児 一人ひとりを大切にしたい安心安全な環境作りと成長発達に寄り添った保育を大切に
にする。
 - ・環境の工夫をしながら、安全に過ごせる保育を話し合いながら取り組み事が
できた。ひとり一人の成長を確認しながら保育を進めることができた。
- ・1才児 一人ひとりの自我の芽生えを受容し、意欲を持って豊かな成長発達に繋がる暖か
い保育を大切に。
 - ・子どもの気持ちを優先しながら、様々な経験を積み重ねていくことができた。
 - ・ひとり一人の発達の違いがあるが、無理せず寄り添いながら保育することができた。
- ・2才児 安心できる環境作りを目指し、自ら行おうとする意欲が持てる丁寧な保育を大切
にする。
 - ・戸外活動を積極的に取入れることができ、体力がついた。外へ出ることで、ストレス発散
にもなり、様々なことにやる気がみられ、ひとり一人の意欲へ繋げていくことができた。
- ・たてわり(3～5才児)
 - 異年齢の友だちとのかかわりの中でさまざまな経験を通し、自分や仲間と考え合
い行動する意欲が持てる一人ひとりを大切にしたい保育を丁寧に行う。
- ・3才児 友達や保育士とのかかわりの中で、助けられながらも自分から行動することの喜び
を感じ合う保育を大切に。
 - ・4才児 友だちとのつながりを深め、思いやり等の心育ちを豊かになる活動を一緒に楽しみ
自信に繋がる保育を大切に。
- ・5歳児 就学に向けて自信を持って生活や遊びに取り組み、友達などの気持ちを考え行動
する心育ちを深め、自己発揮できる保育を大切に。
 - ・(たてわり) 同年齢の活動では、競争心が見られ活発だった。異年齢保育では、年下
の子どものお世話をする、大きい友達に憧れを持って真似をするなどの心の成長が大
きく見られた。また、運動会などの行事を目指して、自分の目標を持って練習し、取り
組もうとする姿につながった。ひとり一人に寄り添いながら保育を共有して取り組むことが
できた。

(保育園全体)

- ・まごころ保育園らしさを大切に、今年度は開園 10 年目の節目になり、保育の原点を振り
返り、暖かで、生き生きと楽しい保育園生活を過ごせるよう、環境作り、衛生管理・危機
管理等をさらに見直し、職員、保護者様との連携を大切に安心安全な保育を工夫してい
きます。
 - ・10年目としての様々な行事の取り組みを模索していたが、コロナ禍であったため実践
できなかった。次年度も「丁寧な保育」と「まごころらしい保育」を大切に実践へつなげ
ていく。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数・在籍者数

管理者	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	嘱託医	清掃業務委託	合計
1	1	(5) 14	1	(3) 0	1	(2) 0	(2) 0	(12) 18

※()は臨時職員・パート職員 嘱託医・業務委託(清掃)人員数含まない

※ 正保育士 2名産休・育休(7月～9月～)

(2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
R3.10.1	P 調理員	1 名	2020.10.31	P 調理員	1 名
R3.11.1	P 保育士	1 名	2021. 3.31	保育士	3 名
			2021. 3.31	栄養士	1 名

(3) 研修調べ

期 日	内 容	開催地	出席人数
4/6	人事考課について	札幌市	園 1名
4/14	園経営とリスクマネジメント	札幌市	園/主 2名
5/10	保育園・こども園における保育保健～感染症を中心に～	東 京	園/主 2名
5/18	保育の資質向上に向けた「はじめの一步」とは	東 京	園 1名
5/21	撮る・楽しむ・活かす写真活用の「はじめの一步」	札幌市	保 1名
5/25	3才未満児保育の重要性と子どもの育ちを支える保育実践について	札幌市	保 2名
5/26	就学前施設の事故防止・リスクマネジメント	札幌市	保 1名
5/27	保育施設における突然死とその予防	東 京	園/主 2名
6/9	足育～子どもの足と靴～	札幌市	保 2名
6/28	ニューノーマル時代に選ばれる組織づくりとは	札幌市	主 1名
7/27	保育の質向上に向けた学びや気づきその大切さ	東 京	保 1名
7/27	保育の質向上とドキュメンテーションの関係性	東 京	保 1名
8/20	保護者支援研修	札幌市	保 2名
8/25	社会福祉法人会計セミナー 仕訳研修セミナー	札幌市	事 1名
9/1	保育士のための保護者支援	札幌市	保 1名
9/6	生い立ちに困難をかかえる子どもへの理解と関わり	札幌市	園/保 2名
9/11	第69回北海道・東北ブロック保育研究大会 「食を営む力」の基礎を培う食育推進	札幌市	栄 1名

9/11	第69回北海道・東北ブロック保育研究大会 「子育てライフを支援する」	札幌市	保1名
9/11	第69回北海道・東北ブロック保育研究大会 「子どもの育ちを保障する」	札幌市	保1名
9/18	保育園経営について	札幌市	園/事2名
10/4	第54回全道保育士等研究集会	札幌市	保2名
10/12	北海道・東北セミナーin 宮城	宮城県	園1名
10/22	第45回札幌市私保連保育研究大会基調講演 (対面)	札幌市	主/保3名
10/23	第45回札幌市私保連保育研究大会基調講演 分科会(対面)	札幌市	園/保2名
10/25	厚別区幼保小連携推進協議会講演会	札幌市	保1名
11/12	保健衛生セミナー	東京	園/主2名
11/15	キャリアアップ研修 乳児保育	札幌市	保1名
11/25	保育の環境を見直してみよう	札幌市	保1名
11/29	子どもの発達にあった造形表現	東京	保2名
12/1	子どもの発達課程に沿った保育環境	東京	保2名
12/2	アンガーマネジメント研修	私保連厚別区	園/主2名
12/7~9	キャリアアップ研修 乳児保育	札幌市	保1名
12/16・17	札幌市障がい児保育担当職員研修	札幌市	保1名
12/17	接遇マナー研修	札幌市	保1名
12/20・21	キャリアアップ研修 食育・アレルギー	札幌市	保2名
12/22・23	キャリアアップ研修 障がい児	札幌市	保1名
1/6・7	キャリアアップ研修 マネジメント	札幌市	保1名
1/5・15 12~13/31~2/1	キャリアアップ研修 マネジメント	札幌市	主/保3名
2/17	児童相談所の役割と実態について	札幌市	保1名
3/2	R3年度法人役員・施設長専門研修	札幌市	園1名

※ほとんどの研修がWEB参加

(4)勤務時間

- ・11時間開所のシフトの中で、保護者と担当が合えないこともあり、個々の子どもの様子等を職員間で連携することが出来た。
- ・遅番の出勤時間は、午前の保育に入れられないため、勤務時間の工夫が必要だった。

(5)諸会議

- ・職員会議等全職員で集まるのが難しいため、個々への伝達、確認方法を工夫した。

【幌西ほうおん概要】

— 生活介護・就労継続支援(B型) ～ 多機能型 —

1. 支援目標(反省)

- ・ 利用者の自立支援をはじめ、住み慣れた街での地域生活を支えるために、社会資源を活用した日中活動の提供を行なった。
- ・ 個々の能力や個別の状況に応じ、働くことや地域の方々とのコミュニケーションの機会を経験することで、地域の一員としての役割を感じる取り組みを行なった。

2. 利用者支援

(1)受入目標 6,800名(達成率:74.6%)

生活介護定員 15名(契約数 22名)

⇒年間延べ利用者数:4,254名

就労継続支援B型定員10名(契約数 5名)

⇒年間延べ利用者数: 820名

合計 5,074名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
2020年度から本年度への繰り越し人数	28名
本年度中の入所者数	1名
本年度の利用者総数	29名
本年度中の退所者数	2名
差し引き本年度から2022年度への繰り越し人数	27名
平成29年4月1日開所以来の利用者数	38名

②月別人数調べ(多機能)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
契約者数	29	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	27	330
延べ人数	462	404	435	409	424	433	426	449	445	388	367	432	5,074
開所日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27	310
月平均	17.8	15.5	16.7	15.1	16.3	16.7	16.4	17.3	17.1	16.2	15.3	16.0	16.4
入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
退所	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他施設へ	0	1	1
家 庭	1	0	1
就 職	0	0	0
計	1	1	2

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他施設から	0	0	0
家庭から	1	0	1
その他	0	0	0
計	1	0	1

⑤在籍利用者 区分別調べ(月初日現在)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害支援区分6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
障害支援区分5	11	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	114
障害支援区分4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
障害支援区分3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
障害支援区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13
障害支援区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23
計	29	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	27	330

(3)利用者日課

9:30	登園・バイタルチェック
9:45	朝の会、ラジオ体操
10:00	活動開始
12:00	昼食・休憩
13:30	活動開始
15:00	休憩・自由時間
15:30	掃除
15:50	帰りの会
16:00	帰宅

(4)事業所目標(反省)

①生活介護の活動内容の充実を図る。

・活動のバリエーションを豊富にしたことで、日常的に自己決定、自己選択の機会を増やし、1人ひとりに合った課題を提供できた。また、毎月の運動活動の内容を現場で共有し、必要な方の運動量を確保することが出来た。

②B型の収益を上げる。

・新規の業者を開拓し、作業の種類と量を増やすことが出来たが、作業に対する利用者のスキルアップが不十分だった。
・11月よりコロナ禍に対応した形でカフェを再開したが、作業収益が少なかったため、作業工賃の増額に至らなかった。

③短期入所の稼働率を上げる。

・短期入所の回数を月2回から3回に増やすことが出来たが、コロナ禍のため外部の型の受け入れはできなかった。

④施設内の環境整備に努める。

・園庭の芝生の中の雑草面積が増えてきているが、毎日の水やりや芝刈りによって現状を保つことは出来た。施設内の清掃も職員全体で意識して取り組んだ。

⑤地域福祉の拠点としての役割を果たす。

・コロナ禍につき会議室等の貸し出しは自粛したが、ほうおん園は開放した。外出自粛の社会情勢の中、地域の方々の憩いの場所となっていた。また、ポチの像を介して心温まるやり取りをさせていただきHPにも掲載した。

(5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	11	火	お花見会	ほうおん園、2階	21名
6			※運動会中止		
8	6	金	七夕の会	食堂、2階ホール	20名
9	23	木	ミニまつり(報恩まつり代替)	全館	21名
10	8	金	ハイキング	近隣公園	17名
11	18	木	秋の食事会	食堂、2階ホール	21名
12	24	金	クリスマス会	食堂、2階ホール	21名
1	6	木	新年会	食堂、2階ホール	18名
2	3	木	節分	全館	17名
2	25	金	冬の会(外出行事代替)	ほうおん園	17名
3	30	水	お疲れ様会	食堂、2階ホール	21名

3. 職員の勤務状況

(1)職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	事務員	調理員	運転手	看護師	協力医	合計
1	(1)	6	1	1	1	(2)	(1)	(1)	(1)	(7) 10

※()は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2) 職員の異動

報恩学園からの異動			退任		
発令年月日	職名	人数	発令年月日	職名	人数
2021.4.1	生活支援員	1名	2022.3.31	支援課長	1名
報恩学園からの異動			くるみ寮へ異動		

(3) 職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
2021.6.23	相談支援従事者研修(現任研修)	オンライン	1名
2021.7.29	施設長実学講座	オンライン	1名
2021.8.20	会計仕分け演習セミナー	オンライン	1名
2021.10.6-7	全国知的障害関係施設長会議	オンライン	1名
2021.10.12	北海道・東北ブロックセミナー	オンライン	1名
2021.10.15	日中活動支援部会全国大会	オンライン	1名
2021.10.27	幹部職員研修会	オンライン	2名
	全道知的障がい関係職員研究大会	オンライン	1名
2021.11.19	権利擁護セミナー	オンライン	1名
2021.12.6	全国生産活動・就労支援部会職員研修会	オンライン	1名
2021.12.11	5法人ジョイントセミナー	オンライン	1名
2022.2.10	全道施設長研修会	オンライン	1名
2022.3.2	法人役員・施設長専門研修	オンライン	1名

(4) 勤務時間

- ・ 現行の勤務時間で特に問題はなかった。
- ・ 送迎時間については、冬時間で対応した。

(5) 諸会議

- ・ 定例の会議については、予定通り実施することができた。必要に応じ随時臨時の会議を設け対応した。感染症対策のため外部委託業者が入る給食会議のみ電話連絡で対応した。